F-12C

取扱説明書　’11.7

はじめに

「F-12C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- F-12Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

F-12Cの操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

「取扱説明書」（本FOMA端末に搭載）

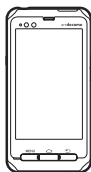
すべての機能の案内や操作について説明
アプリケーションメニューで［取扱説明書］→検索方法を選択

「取扱説明書」（PDFファイル）

すべての機能の案内や操作について説明
〈パソコンから〉http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本体付属品および主なオプション品

〈本体付属品〉

F-12C（リアカバー F63、保証書含む）

クイックスタートガイド

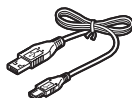
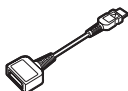
電池パック F21

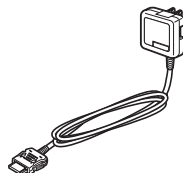
卓上ホルダ F34

microSD カード（2GB）（試供品）（取扱説明書付き）

※ お買い上げ時にあらかじめ FOMA 端末に取り付けられています。

卓上ホルダ F34はお客様から回収させていただいた製品のABS樹脂をリサイクルして製造しております。

PC 接続用 USB ケーブル T01

FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ T01

〈主なオプション品〉

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02（保証書、取扱説明書付き）

その他のオプション品→P119

- 本書においては、「F-12C」を「FOMA端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作（→P46）を表しています。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

マルチメディア 93

ファイル管理 100

アプリケーション 104

海外利用 115

付録／索引 119

F-12Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本FOMA端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P125
- FOMA端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードやFOMA端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、FOMA 端末のセキュリティを確保してください。→P48
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- FOMAカード（青色）をお使いの場合は、海外で本FOMA端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどの Googleサービスや、Twitter、Facebook、mixiなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- Wi-Fiテザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- Wi-Fiテザリング利用時は、パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、Wi-Fiテザリングを有効にするとWi-Fi対応機器が未接続の状態でも、ブラウザやメールなどを含むすべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。利用後は必ずWi-Fiテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P17

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリケーションや通話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**→「材質一覧（P12）」**

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止
アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示
DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示
電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く
長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く
万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモUIMカードの取り扱い

⚠注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

指示

けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	フロントケース	PA+GF樹脂	UVハードコート
	リアケース	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバーインナー	シリコンゴム	なし
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
カメラパネル		高強度アクリル樹脂	UVハードコート
IRDAパネル		PMMA樹脂	UVハードコート
フラッシュパネル		PC樹脂	なし
操作キー	キートップ	PC樹脂	UVハードコート
	キーガイド	PC樹脂	UVハードコート
	遮光シート	PET	なし
	キーラバー	シリコンゴム	なし
電源キー		PC+ABS樹脂	UVハードコート
音量ボタン		PC+ABS樹脂	UVハードコート
ストラッププレート		ステンレス鋼	なし
ストラップ固定ネジ		ステンレス鋼	なし
RF端子キャップ		シリコンゴム	なし
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	PC樹脂	なし
	止水ゴム部	シリコンゴム	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
電池端子	本体	LCP樹脂	なし
	端子	チタン銅	金メッキ
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし
ドコモUIMカードトレイ		ABS樹脂	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-12Cは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

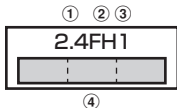
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ドコモUIMカードについてのお願い

- **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

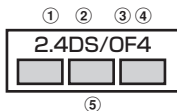
◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、データ転送、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。**
- **周波数帯について**
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ［図］：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

◆注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊜」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能

F-12Cは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-12CにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-12Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

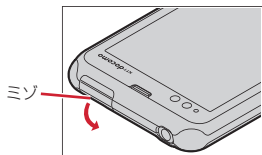
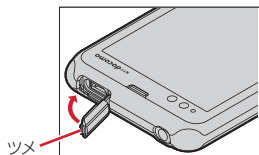
❖F-12Cが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中に沈めることができます。**
  - 水中で操作しないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、後述の方法で洗い流し、所定の方法（→P19）で水抜きしてください。
- **お風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

- **洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。**
  - 洗うときはリアカバーを確実に取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

◆防水性能を維持するために

水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。

また、外部接続端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。

- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「電池パックの取り付け」の④⑤をご覧ください。→P25
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

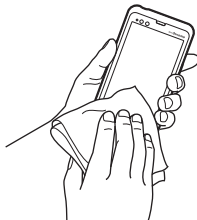
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態で動画再生などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

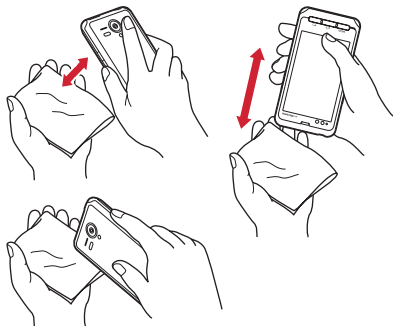
- 規定（→P17）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-12CはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- FOMA端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① FOMA端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

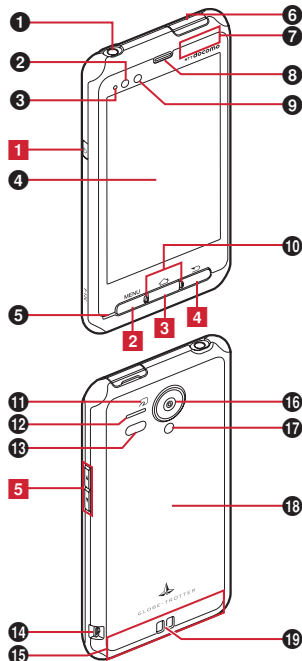
③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。

④ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、FOMA端末が濡れていないか確認してください。FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。
- FOMA端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

〈各部の機能〉

❶ **ステレオイヤホン端子（防水）**
市販のステレオイヤホンを接続

❷ **近接センサー**
通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐ
※ 近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、近接センサーが誤動作する場合があります。

❸ **お知らせLED**
赤色点灯：充電中（緑色点滅時を除く）
緑色点滅：電話着信中や不在着信通知、新着／未読メールがあるときなど
緑色1回点灯：電源オン

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**
指で触れて機能の操作や情報の表示

❺ **送話口（マイク）**
自分の声をここから送る、録音時のマイク

❻ **外部接続端子**
付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタT01やPC接続用USBケーブルT01などの接続

❼ **GPSアンテナ部**
※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❽ **受話口**
相手の声をここから聞く

❾ **照度センサー**
周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節
※ ふさぐと、正しく調整されない場合があります。

❿ **キーバックライト**
照度センサーによって暗所と判定されると、ロック画面が表示されたときや、ホーム画面やアプリケーションメニューでキーを押したときに点灯します。
※ 明るい場所でキーを押してから、すぐに暗い場所に移動してキーを押すとキーバックライトが点灯しないことがあります。その場合は一定時間経過してから再度キーを押すと点灯します。

⑪ (フェリカ)マーク
ICカードの搭載
※ (フェリカ)マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⑫ **スピーカー**
着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声などをここから聞く

⑬ **赤外線ポート**

⑭ **ストラップホール**

⑮ **FOMAアンテナ部**
※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑯ **カメラ**
静止画や動画の撮影

⑰ **カメラライト**
撮影時にフラッシュライトとして点灯

⑱ **リアカバー**
※ リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
※ リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

⑲ **充電端子**
付属の卓上ホルダを使用して充電するときの端子

〈キーの機能〉
キーを押して動作する機能は次のとおりです。

1 **電源キー** (電源)
押す：スリープモードの設定／解除
長く押す：電源を入れる、マナーモード、公共モード、機内モードの設定／解除、電源を切る、再起動

2 **メニューキー** MENU
押す：現在の画面で使用できるオプションメニューの表示
1秒以上押す：文字入力時はキーボードの表示／非表示

3 **ホームキー** (ホーム)
押す：ホーム画面に戻る
1秒以上押す：最近使用したアプリケーションの表示

4 **バックキー** (バック)
押す：直前の画面に戻る

5 **音量ボタン** ▲▼
押す：受話音量、着信音量、音楽再生などの音量調節
▼を1秒以上押す：マナーモードの設定／解除

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。

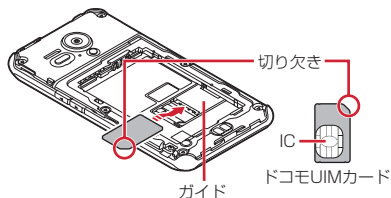
- ドコモUIMカードを正しく取り付けていない場合や、ドコモUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- 本FOMA端末では、ドコモUIMカードに電話番号を登録できません。
- ドコモUIMカードについて詳しくは、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P24

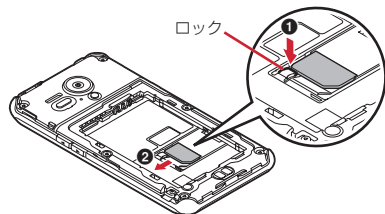
❖ ドコモUIMカードの取り付け

1 ドコモUIMカードのIC面を下にして、ガイドの中に差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

❖ ドコモUIMカードの取り外し

1 指でロックを押しながら(❶)、ドコモUIMカードを❷の方向に2～3mm引き出す

2 ロックから指を離し、ドコモUIMカードを軽く押さえながら❷の方向へスライドさせる

- このときドコモUIMカードを下方向に強く押し付けないでください。

✔**お知らせ**

- ドコモUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

◆ ドコモUIMカードの暗証番号

ドコモUIMカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P48

microSDカード

◆ microSDカードについて

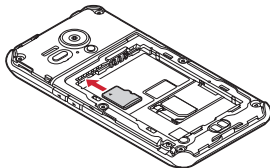
FOMA端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けてご使用ください。取り付けていない場合、カメラ、音楽や動画（再生やダウンロード）など一部の機能がご利用になれません。

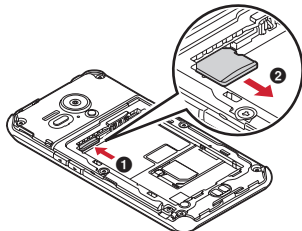
- 本FOMA端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年7月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- お買い上げ時は、あらかじめmicroSDカード（試供品）が取り付けられています。ご使用前に、microSDカード（試供品）の取扱説明書もご覧ください。

❖microSDカードの取り付け

① microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む

❖microSDカードの取り外し

① microSDカードを軽く押し込んでから（❶）離す
② microSDカードをまっすぐ引き出す（❷）

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードがFOMA端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

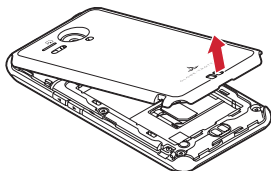
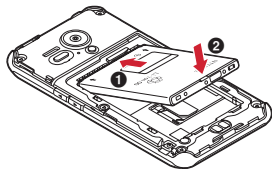
電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

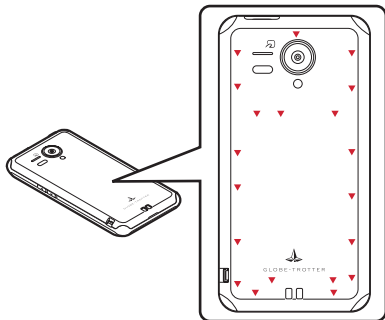
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、FOMA端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- FOMA端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本FOMA端末専用の電池パック F21をご利用ください。

❖電池パックの取り付け

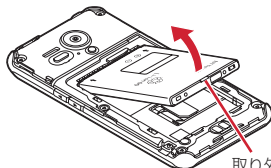
① リアカバー取り外し部に爪をかける

② リアカバーを矢印の方向に垂直に持ち上げながら、はがすように取り外す
- 防水性能を維持するため、リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。

③ 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの金属端子をFOMA端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける

④ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

⑤ リアカバー裏のツメとFOMA端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める
- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※「防水性能」について→P17

❖電池パックの取り外し

① 電池パックの取り付けの操作①と操作②を行う

② 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

❖充電時のご注意

必ずFOMA端末に電池パックを取り付けて充電してください。

- FOMA端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 充電中はFOMA端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。FOMA端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。FOMA端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合、充電エラーになります。充電エラーになると、起動中の機能が終了して電源が切れ、お知らせLEDが赤色に点滅します。充電器を取り外すか電池パックを取り外してください。
  - 充電電圧が高くなった
  - 電池パックが過充電／過放電した
  - 5時間以上たっても充電が完了しなかった

❖充電時間（目安）

F-12Cの電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01使用時：約180分 卓上ホルダ使用時：約240分
DCアダプタ	FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01使用時：約180分 卓上ホルダ使用時：約240分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。→P130

連続待受時間	**FOMA／3G**	静止時（自動）：約450時間 移動時（自動）：約380時間 移動時（3G固定）：約380時間
	GSM	静止時（自動）：約290時間
連続通話時間	**FOMA／3G**	約320分
	GSM	約350分

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA ACアダプタ01（別売）：AC100Vのみに対応しています。

FOMA ACアダプタ02／FOMA 海外兼用ACアダプタ01（別売）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

FOMA DCアダプタ01／02（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。

❖電池残量の確認のしかた

ステータスバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。→P31

- 電池が切れそうになると警告メッセージが表示され、しばらくすると電源が切れます。
- ホーム画面でMENU→［設定］→［端末情報］→［端末の状態］をタップすると電池残量をパーセントで確認できます。

✔お知らせ

- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、FOMA端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

◆ 卓上ホルダを使って充電

FOMA ACアダプタ01／02（別売）、付属のFOMA充電microUSB 変換アダプタ T01と卓上ホルダ F34を使って充電します。

① ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む

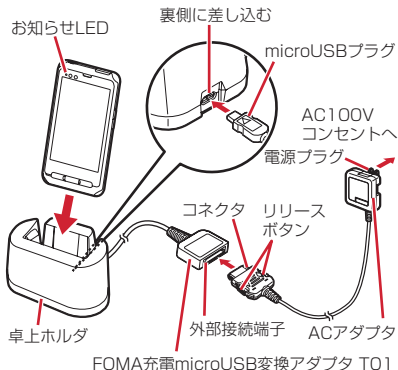
② 充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダ裏側の端子へ差し込む

③ ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

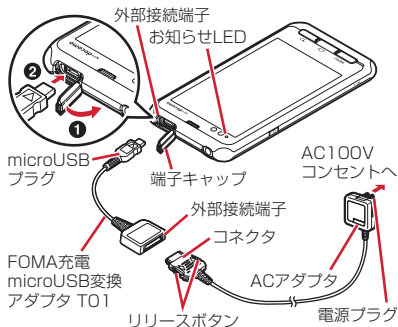
④ FOMA端末を卓上ホルダに差し込む
- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します

⑤ 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す

⑥ 卓上ホルダから充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを抜き、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く
- コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。

⑦ ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

◆ ACアダプタを使って充電

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と付属のFOMA充電microUSB 変換アダプタ T01を使って充電します。

① ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む
② FOMA端末の外部接続端子キャップを開け（❶）、充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む（❷）
③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
  - 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
④ 充電が終わったら、FOMA端末からmicroUSBプラグを抜き、外部接続端子キャップを閉じる
⑤ 充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く
  - コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。
⑥ ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

✔お知らせ

- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01は、FOMA端末とACアダプタを接続するためのアダプタです。FOMA USB接続ケーブルなどと組み合わせてパソコンと接続しても、データの送受信や充電を行うことはできません。パソコンとの接続には、付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用ください。

◆ PC接続用USBケーブルを使って充電

FOMA端末とパソコンを付属のPC接続用USBケーブル T01で接続すると、FOMA端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

1 **お知らせLEDが緑色に点灯するまで、⏻を押したままにする（約2秒）**

起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 **ロック画面下の🔒を左または右にスライド**

- ロック画面→P33

❖初めて電源を入れたときは

初めて電源を入れたときは、ソフトウェア更新機能の確認画面で［OK］をタップし、「はじめに」の画面から初期設定ができます。設定した内容は後から変更できます。→P31

1 **各項目の［設定］→画面に従って項目を設定**

2 設定が完了したら、「はじめに」の画面で[⌂]または[⮌]

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで、[⏻]を押したままにする

2 [電源を切る]→[OK]

バイブレータが1回振動したあと、電源が切れます。

基本操作（タッチパネルの使いかた）

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。また、FOMA端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます。

◆ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - 濡れた手による操作
  - 水中での操作

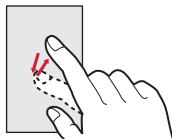
◆ 主な操作

❖ タップ／1秒以上タッチ

タップ：画面の項目やアイコンを指で軽く叩きます。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。

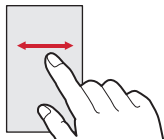
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。ダブルタップするたびに、Webページや静止画などの表示画面を拡大／縮小します。

1秒以上タッチ※**：**画面の項目やアイコンを指で1秒以上触れてから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。操作によっては、1秒以上触れてから指を離さないままで次の操作をする場合があります。

※ 操作の説明では「（1秒以上）」と記載することがあります。

例：タップ

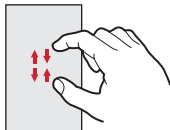
❖ スライド／フリック

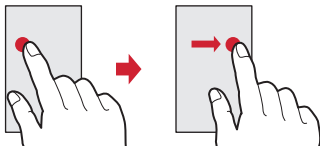
スライド：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

フリック：画面を左右にすばやく指を払います。複数のページやデータがあるときの前後の画面の切り替えなどで使います。

例：スライド

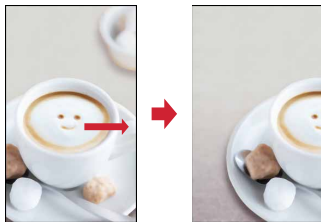
❖ピンチ

画面を2本の指で触れたまま、2本の指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。

- Webページや静止画などの表示画面の拡大／縮小で使います。

❖ドラッグ

画面の項目やアイコンを指で触れたまま目的の位置に移動します。

❖パン

画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

- WebページやOffice eファイル、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに使います。

❖スクロール

画面を上下／左右方向にスライドまたはフリックして、隠れている部分を表示します。

- 連絡先リストやアプリケーション一覧などが1画面で表示しきれないときに使います。

◆縦／横画面表示の切り替え

FOMA端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

- 表示中の画面によっては、FOMA端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

初期設定

FOMA端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[初期設定]

2 各項目を設定

歩数計：歩数計を使うための情報を設定します。→P79
あわせるボイス：あわせるボイスを使うための年齢情報を設定します。
画面ロック：画面ロックについて設定します。→P48
ホーム壁紙：ホーム画面の壁紙を設定します。→P34
フォトスクリーン：ロック画面の画像を設定します。
電話帳コピー：電話帳のコピーをします。→P57
Googleアカウント：Googleアカウントを設定します。

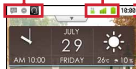
❖その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Eメールのアカウントの設定→P80
- Wi-Fi機能の設定→P65
- アクセスポイント（APN）の設定→P63

画面表示／アイコン

◆ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。

■主な通知アイコン

：新着Gmail
：新着Eメール
：新着spモードメール
：新着SMS、エリアメール
：SMSの送信失敗
：伝言メッセージ
：新着インスタントメッセージ
：カレンダーの通知
：アラームスヌーズ中
：楽曲再生中
：同期トラブル
：Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
：Wi-Fiテザリングが有効
：Bluetooth通信でファイル着信
：USB接続中
：通話中
：不在着信
：通話保留中
：データのアップロード完了
：データのダウンロード完了
：Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了
：Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能
：隠れた通知
：microSDカード未挿入
：microSDカードのマウント解除

：イヤホン接続中（端末のマイク）
：イヤホン接続中（イヤホンマイク）
：通知アイコン（ソフトウェア更新有）
：通知アイコン（ソフトウェア更新完了）

■ 主なステータスアイコン

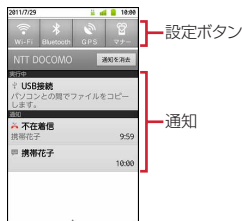
※：電波状態
※：ローミング中
：圏外
※／※（矢印がグレー）：GPRS接続中／使用中
※／※（矢印がグレー）：3G（パケット）接続中／使用中
：機内モード
※：Wi-Fi接続中
：Bluetooth機能オン
：Bluetooth機器接続中
：データ同期中
：おサイフケータイ ロック設定中
：ドコモUIMカード未挿入
：アラーム設定中
：スピーカーフォンオン
：マイクミュート
：着信音量0
：バイブレーションオン
：公共モード（ドライブモード）
：マナーモード
：マナー（サイレント）
：マナー（アラーム）
：オリジナルマナー
：要充電
：電池残量が少ない
：電池残量十分
：充電中
：GPS測位中
：ATOKのかな入力モード
：ATOKの英数字入力モード
：ATOKの数字入力モード
：ATOKの絵文字／顔文字／記号、定型文、文字コード入力

※Googleアカウントでログインしているときに、緑色で表示されます。

◆ 通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

❖通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方向にドラッグ

- 各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- ［通知を消去］をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。
- 設定ボタンをタップすると、Wi-Fi、Bluetooth機能、GPSとマナーモードのON／OFFを切り替えることができます。設定をONにすると、ボタンの色が黄緑色に変わります。

✔お知らせ

- ホーム画面でMENU→［通知］をタップしても通知パネルを開くことができます。

❖通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のタブ（▲）を上方向にドラッグ、または

◆ ディスプレイの表示が消えたら

FOMA端末を一定時間操作しなかったときは、バックライトの消灯までの時間に従って自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 ⏻または［⌂］

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

✔お知らせ

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中に⏻を押します。
- スリープモード中に電話着信やSMS受信があると、スリープモードは解除されます。

◆ ロック画面が表示されたら

1 ロック画面下の🔒を左または右にスライド

ロックが解除されます。

✔お知らせ

- ロック画面が表示されていても、不在着信の件数と新着メール（新着種別で設定されたもの）の有無が表示されます。
- ［マナー］または［マナー］をスライドすると、マナーモードの設定／解除ができます。
- ロック画面表示中は、バックライトの消灯までの時間に関わらず、一定時間経過するとディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。［⌂］を押していつでも呼び出すことができます。

- 5つのホーム画面を左右にスライドまたはフリックして切り替えて使用できます。

◆ ホーム画面の見かた

① ステータスバー→P31
FOMA端末の各種状態などをアイコンでお知らせします。

② カスタマイズエリア→P34
ホーム画面のカスタマイズが可能な領域です。ショートカット、ウィジェット、フォルダ、壁紙、アプリ履歴を配置できます。お買い上げ時に表示されている項目は削除できます。

③ 電話／不在着信／通話中
タップすると電話をかけることができます。
不在着信の件数が表示されているときにタップすると通話履歴を表示します。
通話中の表示のときは、タップすると通話画面に切り替えることができます。

④ アプリ履歴
アプリケーションメニューから起動したアプリケーションのうち直近の3件が表示されます。タップするとアプリケーションを起動できます。
- ホーム画面のカスタマイズエリアにショートカットで表示されているアプリケーションは表示されません。

⑤ ホーム画面の位置
5つのホーム画面のうち現在何番目の画面が表示されているかを表示します。

⑥ メール／新着メール
タップすると新着種別の設定（→P71）に従ってspモードメール、Eメール、SMSのいずれかが起動します。新着メールがある場合はでお知らせします。

⑦ アプリ起動
タップするとアプリケーション一覧を表示します。
1秒以上タッチすると、5つのパネルが表示され、ホーム画面を切り替えることができます。

✔お知らせ
- ホーム画面でMENU→［設定］をタップして、設定メニューを表示できます。→P63

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。

❖ショートカットやウィジェットの追加

1 ホーム画面でMENU→［ホーム編集］

編集画面に切り替わります。
- 左右にスライドまたはフリックしてカスタマイズするホーム画面を切り替えることができます。

2 ［追加］→［ショートカット］／［ウィジェット］／［フォルダ］／［アプリ履歴］→項目を選択

ホーム画面に選択した項目が貼り付けられます。
- ［アプリ履歴］をタップしたときは、項目は選択しません。
- 貼り付けた項目はドラッグして位置を変更したり、に入れて削除できます。
- ホーム画面でカスタマイズエリアを1秒以上タッチしても追加メニューを表示できます。

3 ［完了］

✔お知らせ
- 短縮ダイヤルのウィジェットを2つ以上貼り付けても、登録できる件数は最大4件です。すべての短縮ダイヤルのウィジェットが連動して同じ内容になります。

❖ショートカットやウィジェットの削除

1 →左右にスライドしてカスタマイズしたいホーム画面を表示

2 削除するショートカットやウィジェットを選択（1秒以上）→そのままにドラッグ

◆ ホーム画面の壁紙の変更

1 ホーム画面でMENU→［壁紙］

- カスタマイズエリアを1秒以上タッチして、［壁紙］をタップしても操作できます。

2 **[ギャラリー]／[ライブ壁紙]／[壁紙]→画像を選択→[壁紙に設定]**

- [ギャラリー]をタップして画像を選択した場合は、トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠の角をドラッグして拡大／縮小したあと[保存]をタップして設定完了です。
- [ライブ壁紙]→[Photo Collage]をタップした場合は、続けて[設定]→[イメージフォルダ選択]→[フォルダを選択]→指定するフォルダにチェックを付けて、microSDカード内のイメージフォルダを指定します。表示モードも設定できます。カメラで撮影した静止画は、DCIMフォルダの下に、ダウンロードした画像はdownloadフォルダに保存されています。パソコンからmicroSDカードに保存したイメージフォルダも指定できます。パソコンからmicroSDカードへ静止画を保存する方法については、「microSDカードのデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P103

❖ホームボタンのデザイン変更

1 **ホーム画面でMENU→[ホーム編集]→MENU→[ホームボタンのデザイン変更]→デザインを選択**

◆ 他のホーム画面に切り替え

1 **アプリケーションメニューで[ホーム画面切替]→[OK]**

2 **他のホームを選択**

- [常にこの操作で使用する]にチェックを付けると、[⌂]を押したときにホームの選択画面は表示されなくなります。

✔お知らせ

- Android標準のホーム画面に切り替えるには、操作2で[ランチャー]をタップします。
- ホーム画面に戻すには、操作2で[ホーム]をタップします。

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、FOMA端末の設定を変更したりできます。

◆ アプリケーションメニューの表示

1 **ホーム画面で[▦]**

アプリケーションメニュー

リスト表示／タイル表示の切り替え：[リスト]または[タイル]

ソートして表示：[ソート]→[名前順]／[ダウンロード順]／[利用頻度順]／[カスタマイズ順（編集に従う）]

ページ切り替え：タイル表示のときは左右にスクロール、リスト表示のときは上下にスクロール

❖アプリケーションメニューを閉じる

1 **[⌂]または[↩]**

◆ アプリケーション一覧

お買い上げ時に登録されているアプリケーションは次のとおりです。

- アプリケーションによっては、ダウンロード、インストールが必要な場合があります。

@Fｹｰﾀｲ応援団：@Fｹｰﾀｲ応援団のサイトに接続します。

Amazon JP：Amazon.co.jpで簡単に買物ができます。キーワード検索などの便利な機能満載のアプリです。

ANA旅達：ANAの情報サイト「旅達空間」の旅のクチコミを楽しめるアプリです。

BeeTV：BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。

BOOKストア 2Dfacto：本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。

docomo災害用伝言板：災害用伝言板アプリです。災害時の安否登録、確認ができます。

ecoモード：電池の消費を抑えるecoモードを利用できます。電池残量に応じて自動でONにしたり、ウィジェットから簡単に設定を変更したりできます。

Evernote：EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。

※ 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。

F-LINK：撮影した静止画や動画をワイヤレスで簡単にパソコンに取り込んで楽しむことができます。

Facebook：Facebookにログインできます。

Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P83

GREE：2,500万人以上のユーザーがコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREEの公式アプリケーションです。

Gガイド番組表：地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索も可能です。

HOT PEPPER：お店情報をサクサク検索できる最新の検索技術満載の飲食店検索アプリです。また、お得なクーポンも検索できます。

iD設定アプリ：iDは、お店の読み取り機にかざすだけでお支払いができる電子マネーです。簡単な設定ですぐにiDが使えます。

ｉチャネル：天気やニュースなど様々な情報を配信します。自動的に受信した最新の情報がホーム画面のウィジェット上に表示されます。

※ ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。

JAL 国内線：その場ですばやく国内線航空券を予約・購入したり、事前に発着状況をチェックできるJAL国内線専用アプリです。

Latitude：地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。→P108

mixi：友だちの近況チェックや写真の共有など、よりスマートに、より楽しくコミュニケーションできる2,200万人が利用する「mixi」の公式アプリです。

Mobage：大人気ゲームを楽しめるMobage（モバゲー）のアプリです。

NX!input powered by ATOK：ATOKの各種設定をします。

spモードメール：ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。→P82

SUUMO：賃貸物件、売買物件、リフォーム／注文住宅を手掛ける会社や実例を検索できる不動産検索の定番アプリです。

ThinkFree Office：Microsoft officeファイル、PDFファイルの閲覧ができるアプリです。→P113

Twitter：Twitterのクライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

Twonky Mobile Special：スマートフォン内やインターネット上の動画・写真・音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。

※ インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。

YouTube：YouTubeの動画を見ることができます。→P99
VirusScan（ドコモ あんしんスキャン）：インストールしたアプリケーションやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出し、スマートフォンをウイルス被害から守ります。
アプリランキング：スマートフォンユーザー5万人を対象に調査した「アプリ満足度ランキング」をはじめ、日々、続々とリリースされる、Androidアプリをオリコンならではの視点でわかりやすく紹介するアプリです。
おサイフケータイ：お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができます。→P109
カメラ：静止画を撮影します。→P94
カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。→P112
ギャラリー：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。→P96
しゃべってカンタン操作：電話やメールなどのアプリケーションや設定メニューなどを音声で呼び出します。呼び出すキーワードの編集もできます。→P114
じゃらん：2万軒以上の宿泊施設や、「宿泊プラン」を検索することができる（株）リクルートが提供する、旅行情報サイト「じゃらんnet」のアプリです。
ジョルテ：システム手帳のようにスケジュール管理ができます。
ダウンロード：サイトからダウンロードした画像などを管理できます。
タスクマネージャ：実行中のアプリケーションを表示し、終了させることができます。
※アプリケーションによっては表示されない場合があります。
トーク：Googleトークを利用してチャットができます。→P87
ドコモマーケット：アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。→P106
ドコモ海外利用：海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定・確認をサポートします。
トルカ：店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。→P110
ナビ：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。
バーコードリーダー：バーコードの情報を読み取ります。→P96
ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P90
プレイス：Googleプレイスを利用して、近くの場所の詳細情報を検索できます。→P109
プロフィール情報：電話番号（ご契約電話番号）の確認や、名前やメールアドレスなどの登録ができます。
ヘルスチェッカー：歩数、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量等を表示します。
ホーム画面切替：ホーム画面を切り替えます。
ポンパレ：チケットの共同購入ができます。
マーケット：Androidマーケットを利用します。→P104
マクドナルド：マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。
マップ：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。
メール：パソコンなどとEメールの送受信ができます。→P80
メッセージ：SMSの送受信ができます。→P85
メモ帳：メモを作成できます。→P113
メロディコール：電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。
※メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
ライブドア：ポータルサイト「livedoor」のAndroid版トップを閲覧しやすいようにしたアプリです。
音楽：音楽を再生します。

音声レコーダー：音声を録音できます。
音声検索：音声でWebサイト内の情報を検索します。
楽天オークション：楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
楽天市場：楽天市場が誇る7,000万以上の商品を「検索」「ランキング」「カテゴリ」など様々な方法で探して、買い物ができるアプリです。
検索：FOMA端末内の機能やWebサイトを検索します。
時計：時計の表示やアラームの設定をします。→P111
取扱説明書：本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
※「はじめに」の「F-12Cの操作説明」をご覧ください。
書籍・コミック E★エブリスタ：プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。
※ プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
乗換NAVITIME：目的地への詳しい道案内を取得できます。
声の宅配便：声の宅配便は、電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
赤外線：赤外線通信で連絡先を受信できます。
設定：FOMA端末の各種設定を行います。
地図アプリ：ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。
※ トライアル期間は無料で利用可能です。
朝日新聞：朝日新聞のニュースを見ることができます。
電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P113
電話：電話をかけることができます。→P51
電話帳コピーツール：microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。
電話帳バックアップ：電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。
※ 電話帳バックアップの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード〈スマートフォン〉編）』をご覧ください。
動画撮影：動画を撮影します。→P95
野村證券：株価や為替、市況ニュース、動画配信など、充実の投資情報を無料で閲覧可能な野村證券スマートフォン専用オフィシャルサイトを閲覧するための専用アプリです。
連絡先：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。→P54

◆ アプリケーションの並べ替え

1 **アプリケーションメニューで MENU →[並び順の編集]**

2 **アプリケーションを選択（1秒以上）→そのまま好きな場所にドラッグ→[完了]→[OK]**

- 並べ替えた内容は、アプリケーションメニューで［ソート］→［カスタマイズ順（編集に従う）］をタップして表示した場合に表示されます。
- お買い上げ時の並び順に戻すときは、並べ替えの画面で MENU →［並び順のリセット］をタップします。

◆ 最近使用したアプリケーションの起動

最近使用したアプリケーションを表示して起動することができます。

1 **⌂（1秒以上）**

2 **起動したいアプリケーションを選択**

文字入力

◆ATOKキーボード

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。→P42
- NX!input powered by ATOKの設定で上書き手書き入力がONのときは、テンキーキーボード（ケータイ入力時）やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。お買い上げ時は上書き手書き入力がONに設定されています。→P42

■ テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、ジェスチャー入力Pro、フリック入力の4種類の入力方式を使用できます。→P39

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。

❖キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

- 文字入力欄にカーソルがある状態でMENUを1秒以上押しても表示できます。

■ キーボードの非表示

1 キーボード表示中にMENU（1秒以上）

- ∧を1秒以上タッチして、ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライドし、∧がキーボードアイコンに切り替わってから、再度キーボードアイコンにスライドして指を離しても非表示にできます。

❖キーボードの切り替え

1 文字入力中にキーボード切替アイコン

タップするたびにキーボードの種類が切り替わります。

- キーボード切替アイコンを1秒以上タッチし、そのまま［テンキー］／［手書き］／［QWERTY］までスライドしたり、キーボード切替アイコンの上で上下左右にフリックしても切り替えられます。

❖テンキーキーボード入力方式の設定

1 アプリケーションメニューで［NX!input powered by ATOK］→［ソフトウェアキーボード］→［入力方式］

2 ［ケータイ入力］／［ジェスチャー入力］／［ジェスチャー入力Pro］／［フリック入力］

❖テンキーキーボードで入力

1 テンキーキーボードに切り替え→P39

2 利用する入力モードに切り替えるときは［あ/A/1］

- 数字入力モードでは半角の数字のみ入力できます。
- ［あ/A/1］を1秒以上タッチするとNX!inputメニューが表示され、ATOKの設定や単語登録ができます。

3 文字を入力

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。
- ［×］をタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。
- カーソルを移動するには［←］／［→］をタップします。
- 直前に確定した文字を変換前の文字に戻すには、［戻す］をタップします。
- 文字を入力して［変換］をタップすると、表示される変換候補に推測変換候補は含まれません。
- 文字を入力して［カナ英数］をタップすると、カタカナ／数字／英字／年月日（全角／半角）などに変換できます。例えば［123］（全角）を入力するには、［あかさ］と入力→［カナ英数］→［全角］を選択→［123］（全角）をタップします。［変換］をタップしたあと［後変換］をタップすると、かな／全角カタカナ／半角カタカナに変換できます。
- 文字を逆順で表示するには、［↺］をタップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

- 英数字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ ジェスチャー入力Pro

ジェスチャーガイドの表示／非表示やジェスチャーガイドが表示されるまでの時間を設定できます。

- 設定方法は［ATOKキーボードの設定］をご覧ください。→P42

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと［゛゜小］を1回または2回タップします。

❖QWERTYキーボードで入力

1 QWERTYキーボードに切り替え→P39

2 利用する入力モードに切り替えるときは[あABC]

- [あABC]を1秒以上タッチするとNX!inputメニューが表示され、ATOKの設定や単語登録ができます。

3 文字を入力

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。
- [⇧]をタップするたび、大文字画面と小文字画面が切り替わります。数字は小文字画面で入力できます。
- [⌫]をタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。
- カーソルを移動するには[←]／[→]をタップします。
- 文字を入力して［後変換］をタップすると、かな／全角カタカナ／半角カタカナ／英字に変換できます。
- 文字を入力して［変換］をタップすると、表示される変換候補に推測変換候補は含まれません。

❖絵文字／顔文字／記号パレットで入力

- 文字入力欄によっては、絵文字は入力できません。

1 [∧](1秒以上)→そのまま[絵](絵文字)／[(^_^)](顔文字)／[､｡!?](記号)までスライド

- キーボード上に[絵]／[(^^)]／[､｡!?]が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。

2 カテゴリーを選択→アイテム一覧から入力したい絵文字／顔文字／記号を選択

- パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- パレットの左上にある［履歴］をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖定型文の入力

1 [∧](1秒以上)→そのまま[定型文]までスライド

- キーボード上に[定型文]が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。

2 カテゴリーを選択→一覧から入力したい定型文を選択

❖文字コード表から入力

1 [∧](1秒以上)→そのまま[文字コード]までスライド

2 カテゴリーを選択→一覧から入力したい文字を選択

❖電話帳から引用して入力

1 ∧(1秒以上)→そのままアイコンまでスライド

2 [電話帳／ATOKダイレクト]→連絡先リストで名前を選択→引用する項目にチェック→[OK]

◆ 手書き入力

手書きエリアに指で文字を書いて文字を入力します。

1 手書きキーボードに切り替え→P39

2 手書きエリアで指をスライドして文字を書く

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。変換をタップすると変換候補の一覧に切り替わり、一覧から候補を選択できます。
- 確定していない文字をタップすると、手書きエリアの補正候補の文字の一覧が表示されます。一覧から文字をタップすると文字を入れ替えることができます。
- クリアをタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。

◆ 音声文字入力

音声を文字に変換して入力します。

1 文字入力中にマイク→入力したい言葉を発声

2 認識結果候補一覧から文字を選択

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で[やり直す]をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆ Androidキーボードに切り替え

英字を入力する場合は、Androidキーボードに切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。

1 文字入力欄(1秒以上)

2 [入力方法]→[Androidキーボード]

✔お知らせ

- ATOKキーボードに戻すには、操作2で［NX!input］を選択します。

◆ ATOKの設定

❖ATOKキーボードの設定

1 アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[ソフトウェアキーボード]

2 各項目を設定

キー操作音：チェックを付けると、キーをタップしたときに操作音が鳴ります。

キー操作バイブ：チェックを付けると、キーをタップしたときにFOMA端末が振動します。

入力方式※1：テンキーキーボードでの入力方式を設定します。

トグル入力※1：［ケータイ入力以外でもトグル入力する］にチェックを付けると、ジェスチャー入力やフリック入力の使用時にもトグル入力できます。［自動カーソル移動を行う］にチェックを付けると、マルチタップ中に一定時間タップしないとカーソルが自動的に右へ移動し、次の文字の入力待ち状態となります。また、カーソルが移動するまでの時間（タップ間隔）を設定できます。

文字削除キー※1：［BS］を選択すると、をタップしたときカーソルの左側の文字が削除されます。［CLR］を選択すると、［Clear］をタップしたときカーソルの右側の文字が削除されます。

ジェスチャーガイド※1：入力方式がジェスチャー入力Proのときに、［ジェスチャーガイドを表示する］のチェックを外して［OK］をタップすると、ジェスチャーガイドが表示されなくなります。チェックを付けると、キーをタップしてからジェスチャーガイドが表示されるまでの時間を設定できます。

フリックガイド※1：入力方式がフリック入力のときに、チェックを付けるとフリックガイドを表示します。

フリック感度※1：入力方式がフリック入力のときに、入力の感度を調整します。

切り替え時は英字※2：チェックを付けると、テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときの入力モードを半角英字にします。

英字は確定入力※2：チェックを付けると英字入力時に1文字ごとに確定して入力します。

自動スペース入力※2：チェックを付けると、英語入力モードで単語を確定したときに、自動的にスペースを挿入します。

縦画面の数字キー表示※2：チェックを付けると、QWERTYキーボードを縦画面で表示したときに数字キーを表示します。

横画面の数字キー表示※2：チェックを付けると、QWERTYキーボードを横画面で表示したときに数字キーを表示します。

上書き手書き入力※3：テンキーキーボード（ケータイ入力時）やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができるようにするかを設定します。

枠数（縦画面）※3：縦画面で手書き入力をする場合の枠数を設定します。

枠数（横画面）※3：横画面で手書き入力をする場合の枠数を設定します。

確定速度※3：手書き入力時の文字の確定速度を設定します。

※1 テンキーキーボードの設定です。
※2 QWERTYキーボードの設定です。
※3 手書き入力の設定です。

❖入力・変換に関する設定

1 アプリケーションメニューで［NX!input powered by ATOK］→［入力・変換］

2 各項目を設定

推測変換：チェックを付けると、推測変換の変換候補を表示します。

未入力時の推測候補表示：推測変換がオンのときにチェックを付けると、次の文字を入力する前に入力予測候補を表示します。

スペースは半角で出力：日本語入力時にスペースを半角で入力します。

❖学習データの初期化

一度入力した語句は自動的に記憶され、推測変換の変換候補として表示されます。学習データの初期化を行うと、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[入力・変換]

2 [学習データの初期化]→[OK]

❖キーボードのデザイン変更

1 アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[デザイン]

2 各項目を設定

テーマ：ATOKソフトウェアキーボードのデザインテーマを設定します。
シンプルテイスト：チェックを付けるとキーボードのデザインをシンプルにします。
キーサイズ（縦画面）：縦画面表示のときのキーボードのサイズを設定します。
キーサイズ（横画面）：横画面表示のときのキーボードのサイズを設定します。
文字サイズ：変換候補の文字サイズを設定します。
表示行数（縦画面）：縦画面表示のときの変換候補の行数を設定します。
表示行数（横画面）：横画面表示のときの変換候補の行数を設定します。

❖ユーザー辞書について

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

■ユーザー辞書に単語を登録

1 アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[ツール]→[辞書ユーティリティ]

2 MENU→[新規登録]

3 「単語」に登録する単語を入力

4 「読み」に読みかたを入力

5 品詞を選択→[登録]

■登録単語の修正

1 辞書ユーティリティ画面で修正したい単語を選択

2 内容を修正→[修正]

■登録単語の削除

1 辞書ユーティリティ画面で削除したい単語を選択（1秒以上）→[削除]→[はい]

全件削除する：辞書ユーティリティ画面でMENU→[全削除]→[はい]

■登録単語をmicroSDカードに保存

1 辞書ユーティリティ画面でMENU→[一覧出力]

2 「場所」欄で[sdcard]→保存するフォルダを選択

3 ファイル名を入力→[OK]→[実行]→[閉じる]

✔お知らせ

- microSDカードに保存した単語データを読み込むには、辞書ユーティリティ画面でMENU→［一括登録］→「場所」欄で［sdcard］→フォルダを選択→ファイルを選択→［OK］→［登録］→［閉じる］をタップします。

❖定型文の追加

1 **アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[ツール]→[定型文ユーティリティ]**

定型文一覧画面が表示されます。

- MENU→［カテゴリー］→MENU→［新規作成］をタップすると、新規カテゴリーを追加できます。

2 **MENU→[新規作成]**

3 **定型文を入力→「カテゴリー」欄でカテゴリーを選択→[登録]**

❖定型文の編集

■ 定型文の本文編集

1 **定型文一覧画面で編集したい定型文を選択**

2 **変更内容を入力→[登録]**

- 新規に作成した定型文の本文を編集すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。

■ 定型文のタイトル変更

1 **定型文一覧画面でタイトルを変更したい定型文を選択（1秒以上）**

2 **[タイトル変更]→変更内容を入力→[OK]**

■ 定型文のカテゴリー変更

1 **定型文一覧画面でカテゴリーを変更したい定型文を選択（1秒以上）**

2 **[カテゴリー移動]→移動先のカテゴリーを選択**

■ 定型文の削除

1 **定型文一覧画面で削除したい定型文を選択（1秒以上）**

2 **[削除]→[はい]**

✔お知らせ

- 定型文データをお買い上げ時の状態に戻すには、定型文一覧画面でMENU→［初期化］→［はい］をタップします。

❖ATOK設定の初期化

ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **アプリケーションメニューで[NX!input powered by ATOK]→[設定の初期化]→[OK]**

✔お知らせ

- 設定を初期化しても、学習データやユーザー辞書の単語、追加した定型文は消去されません。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイトやドキュメント、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

❖テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 **テキスト上を1秒以上**

2 **[語句を選択]／[すべて選択]**

［語句を選択］のときはタップした位置の語句が、［すべて選択］のときはすべての範囲がオレンジでハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

3 **ハイライト表示されたテキストを選択→「テキストを編集」で[コピー]／[切り取り]**

- 「テキストを編集」で［貼り付け］をタップすると、選択範囲が貼り付けたテキストで上書きされます。

■ Webサイトやドキュメントなどでコピー

1 **テキスト上を1秒以上**

テキスト範囲がオレンジでハイライト表示されます。
- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 **ハイライト表示されたテキストを選択**

クリップボードにコピーされます。

❖テキストの貼り付け

1 **貼り付け位置にカーソルを移動→テキスト上を1秒以上→[貼り付け]**

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

ロック／セキュリティ

◆ FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意
- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
※「My docomo」については、本書巻末の1つ前のページ（eトリセツでは、「付録」の「マナーもいっしょに携帯しましょう」）をご覧ください。

❖PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P48
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザー証明書利用時、発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

◆PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1. **ホーム画面でMENU→[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]**
2. **[SIMカードをロック]→PIN1コードを入力→[OK]**
   [SIMカードをロック]にチェックが付きます。
   - 設定を解除するには、[SIMカードをロック]→PIN1コードを入力→[OK]でチェックを外します。

✔**お知らせ**

- 初めてPIN1コードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINコードの変更

PIN1コードを変更するには、あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック］にチェックを付ける）しておく必要があります。

1 ホーム画面で MENU →[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIM PINの変更]

PIN2コードを変更するには：[SIM PIN2の変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 新しいPINコードを再入力→[OK]

❖PIN1コードの入力

1 電源を入れる→ロック画面を解除→PINコード入力画面でPIN1コードを入力→[OK]

❖PINロックの解除

1 PIN1コードがロックされた状態で[緊急通報]

2 [**05*[PINロック解除コード]*[新しいPIN1コード]*[新しいPIN1コード]#]と入力

- 例えば、PINロック解除コードが88888888でPIN1コードを7777に変更する場合、「**05*88888888*7777*7777#」と入力します。

✔お知らせ

- PIN1コードではなくPIN2コードがロックされた場合は、アプリケーションメニューで［電話］→[**052*[PINロック解除コード]*[新しいPIN2コード]*[新しいPIN2コード]#］と入力します。

◆画面ロック

画面ロックを設定するとロック画面を解除したあとに、認証操作が必要となるので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防ぐことができます。

- 画面ロックでは、パターン入力、暗証番号入力、パスワード入力の3種類から解除方法を設定できます。

❖画面ロックの設定

ロック解除方法を設定して画面ロックを有効にします。

- パターン、暗証番号、パスワードを変更するときは、設定し直してください。

1 ホーム画面で MENU →[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの設定]／[画面ロックの変更]

- 画面ロックが有効になっているときは、［画面ロックの変更］をタップしたあとにロック解除操作が必要です。

2 [認証なし]／[パターン入力]／[暗証番号入力]／[パスワード入力]

ロックをかけない：[認証なし]

パターンの入力で解除：[パターン入力］→垂直、水平、対角線方向に最低4つの点を結ぶようにスライドしてパターンを入力→［次へ］→同じパターンを入力→［確認]

- 初めて設定するときは、「携帯電話の保護」と「パターン例」が表示されます。

暗証番号の入力で解除：[暗証番号入力］→4～16桁の暗証番号を入力→［次へ］→暗証番号を再入力→［OK]

パスワードの入力で解除：[パスワード入力］→アルファベットを含む4～16桁のパスワードを入力→［次へ］→パスワードを再入力→［OK]

✔お知らせ

- 画面ロック解除時にパターンを表示させたくない場合は、ホーム画面でMENU→［設定］→［現在地情報とセキュリティ］→［指の軌跡を線で表示］をタップしてチェックを外します。
- パターン入力、暗証番号入力、パスワード入力時に振動させたい場合は、ホーム画面でMENU→［設定］→［現在地情報とセキュリティ］→［入力時バイブレーション］をタップしてチェックを付けます。

❖画面の手動ロック

1 ⏻

スリープモードになり、画面ロックがかかります。

❖画面ロックの解除

1 **スリープモード中に⏻または⌂**

2 **ロック画面下の🔒を左または右にスライド**

画面ロックのパターン入力画面または暗証番号／パスワード入力画面が表示されます。

3 **画面ロック解除のパターン／暗証番号／パスワードを入力**

- 画面ロック解除用の暗証番号またはパスワードを入力した場合は、［OK］をタップします。

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいパターン／暗証番号／パスワードを設定してから解除してください。

- ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- ロックが解除されなくても、ロック解除画面から緊急通報できます。→P51

1 **ロック解除画面で［パターンを忘れた場合］／［暗証番号を忘れた場合］／［パスワードを忘れた場合］→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいパターン／暗証番号／パスワードを設定**

◆ 認証情報の管理

セキュリティ保護されたWi-FiネットワークやVPNに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。また、認証情報や証明書を保管する認証情報ストレージにパスワードを設定できます。

❖認証情報ストレージのパスワード設定

1 **ホーム画面でMENU→［設定］→［現在地情報とセキュリティ］→［パスワードの設定］**

2 **新しいパスワードを入力→新しいパスワードを再入力→［OK］**

- パスワードを変更するときは、現在のパスワードも入力します。

❖認証情報や証明書の利用設定

FOMA端末のアプリケーションにパスワード設定された認証情報ストレージへのアクセスを許可することで、認証情報や証明書を有効にします。

- あらかじめ認証情報ストレージにパスワードを設定してください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[現在地情報とセキュリティ]

2 「安全な認証情報」にチェック

3 認証情報ストレージのパスワードを入力→[OK]

❖認証情報ストレージの消去

認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書を消去して、ストレージのパスワードをリセットします。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[ストレージの消去]

2 [OK]

❖microSDカードから認証情報や証明書をインストール

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SDカードからインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

- 認証情報ストレージにパスワードを設定していない場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定します。

電話／ネットワークサービス

電話をかける

1 アプリケーションメニューで[電話]

- ホーム画面で[電話ボタン]を押しても、電話をかけられます。

2 電話番号を入力→[電話ボタン]

- 訂正する場合は[削除ボタン]をタップします。

3 通話が終了したら[終了]／MENU

✔お知らせ

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本体にイヤホンを挿入している、またはスピーカーホンで通話を行っている場合、近接センサーを停止しますので、センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えなくなります。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、誤って画面に触れてしまい通話が遮断される場合があります。
- ダイヤル入力のキーパッドにはグローバルデザインとしてアルファベットが表示されていますが、タップしてアルファベットを入力することはできません。

◆ 緊急通報

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1 アプリケーションメニューで[電話]→緊急通報番号を入力

警察への通報：110
消防・救急への通報：119
海上での通報：118

2 [電話ボタン]

✔お知らせ

- ドコモUIMカードが未挿入の場合、日本国内では緊急通報をかけられません。
- 画面に［緊急通報］が表示されているときは、タップして緊急通報をかけられます。ただし日本国内では、PINコード入力画面表示中またはPINコードロック（PUKロック）（→P47）中は、緊急通報をかけられません。

◆ 通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→電話番号を入力→MENU→[発信者番号通知]／[発信者番号非通知]→

✔お知らせ

- 発信者番号通知サービスで通知／非通知を一括設定できます。→P61

◆ プッシュ信号（DTMFトーン）を入力

「＊」を1秒以上タッチするとポーズ（,）が入力され、プッシュ信号を送信できます。自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 アプリケーションメニューで[電話]→電話番号を入力→「＊」(1秒以上)→プッシュ信号を入力

- 「0」～「9」、「*」、「#」を入力します。
- 電話番号を入力→MENU→［2秒の停止を追加］をタップしてもポーズ（,）が入力できます。
- 複数のメッセージを送信する場合は、ポーズ（,）で区切ります。

2

✔お知らせ

- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P53

◆ 国際電話（WORLD CALL）

「＋」を入力して国際電話をかけます。「0」を1秒以上タッチすると「＋」が入力されます。

- 海外利用→P115
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→「0」(1秒以上)→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力→

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、MENU→［その他］→［国番号付加］→国を選択します。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［電話］→MENU→［国番号設定］をタップすると国番号を登録できます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

▲▼：着信音、バイブレータの動作を止める

2 を右端までドラッグ／MENU

- 着信を拒否する場合は、を左端までドラッグします。

3 通話が終了したら[終了]／MENU

✔お知らせ

- 本FOMA端末は応答保留ができません。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

① 通話を一時保留※1、2
② 名前や電話番号
③ 通話を終了
④ 別の相手に電話をかける※2
⑤ Bluetoothヘッドセットをオン※1
Bluetoothヘッドセットを使用したハンズフリー通話に切り替えます。
⑥ はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示
⑦ はっきりボイスのON／OFF※1
⑧ あわせるボイスのON／OFF
⑨ 通話時間
⑩ ダイヤル入力のキーパッドを表示※1
プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
⑪ マイクをオフ（消音）※1
自分の声が相手に聞こえないようにします。
⑫ スピーカーフォンをオン※1
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

※1 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。
※2 キャッチホンのご契約が必要です。→P59

◆ 通話音量

- 通話中以外は通話音量を調節することはできません。

1 通話中に▲▼

◆ はっきりボイス

電話中に、周囲の騒音に応じて最適な方法で調整し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

1 通話中に[はっきりボイス]

❖ぴったりボイス

はっきりボイスが動作している電話中には、揺れや移動状況（歩行中、走行中）などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

◆ あわせるボイス

各年代の平均聴力に基づいて聞こえかたを変化させ、通話を聞き取りやすくします。

- 初期設定の「あわせるボイス」（→P31）を設定しておくと、年代に合った聞こえかたに自動的に調節されます。

1 通話中に[あわせるボイス]→調節レベルを選択

通話履歴

電話の発着信履歴やSMSの送受信履歴を確認できます。

1 アプリケーションメニューで[電話]／[連絡先]→[履歴]

① 履歴アイコン
発信履歴は、着信履歴は、不在着信履歴はがそれぞれ表示されます。また、同じ相手と連続して発着信した場合はが表示されます。をタップすると履歴の詳細確認、をタップすると元に戻ります。

② 名前や電話番号
タップしてアクションリストを表示します。アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、連絡先登録または個人情報画面の表示を行います。1秒以上タッチすると、履歴を削除したり電話番号を編集して発信したりできます。

③ 発信アイコン
タップして電話を発信します。

❖履歴画面のサブメニューについて

履歴画面でMENUを押して、履歴の表示切替、履歴一覧の削除ができます。

連絡先

連絡先には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡できます。

1 アプリケーションメニューで[連絡先]

① 名前
タップして個人情報画面を表示します。1秒以上タッチすると、電話発信、SMS送信、お気に入りに追加、連絡先の編集／削除などができます。

② インデックスバー

③ インデックス
タップした文字のインデックスバーにジャンプします。

❖連絡先リストに表示する連絡先の設定

電話番号のある連絡先のみ表示したり、特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 連絡先リストでMENU→[その他]→[表示オプション]→表示する連絡先を設定

❖連絡先リストのサブメニューについて

連絡先リストでMENUを押して、連絡先の登録（→P55）、検索や選択削除、アカウント設定、連絡先のインポート／エクスポート（→P56）、グループリストの表示などができます。

◆ 連絡先をグループごとに表示

登録時に設定したグループ別に連絡先を表示できます。

1 連絡先リストでMENU→[その他]→[グループリストへ]→グループを選択

- グループリストでMENU→［50音リストへ］をタップすると、50音順の連絡先リストに戻ります。

❖グループの新規作成

1 グループリストでMENU

2 [グループを新規登録]→必要に応じてアカウントを選択→グループ名を入力→[OK]

- docomoアカウントまたはGoogleアカウントにのみグループ作成が可能です。

グループ名の編集：**[グループ名の編集]→必要に応じてアカウントを選択→編集したいグループを選択→グループ名を編集→［OK］**

- グループリストで編集したいグループを選択（1秒以上）→[グループ名の編集]をタップしても編集できます。

グループの削除：**[グループを削除]→必要に応じてアカウントを選択→削除したいグループを選択→［OK］**

- グループリストで削除したいグループを選択（1秒以上）→[グループを削除]をタップしても削除できます。

✔お知らせ

- 「グループなし」とGoogle既定のグループでの編集／削除はできません。

◆ 個人情報画面の表示

1 連絡先リストで名前を選択

① 顔写真と名前
② 個人登録情報
　項目をタップまたは1秒以上タッチして、電話を発信したり、Eメールを送信したりできます。
③ 連絡先のグループ
④ お気に入り
　タップすると、お気に入りに追加されます。
⑤ SMS送信
　タップすると、SMSを送信できます。

❖個人情報画面のサブメニューについて

個人情報画面でMENUを押して、連絡先の編集／削除、共有（Bluetooth送信、メール添付）、赤外線送信ができます。

◆ 連絡先を登録

1 連絡先リストでMENU→[連絡先を新規登録]→必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[登録]

❖履歴から連絡先を登録

1 履歴画面で相手を選択→[連絡先に追加]→[連絡先を新規登録]／追加する連絡先を選択

- [連絡先を新規登録]では必要に応じてアカウントを選択します。

2 各項目を設定→[登録]

◆連絡先の編集

1 連絡先リストで編集したい連絡先を選択(1秒以上)→[連絡先を編集]→変更したい項目を入力→[登録]

◆連絡先の削除

1 連絡先リストで削除したい連絡先を選択(1秒以上)→[連絡先を削除]→[OK]

- 連絡先リストでMENU→［選択削除］をタップすると、削除したい連絡先を選択して削除が可能です。［全て選択］をタップすると、全件削除できます。

◆連絡先のインポート／エクスポート

1 連絡先リストでMENU→[その他]→[インポート／エクスポート]→項目を選択→それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：ドコモUIMカードに保存した連絡先から追加したい連絡先を指定してインポートします。電話番号は「その他」、メールアドレスは「携帯電話」としてインポートされます。

SIMカードにエクスポート：指定した連絡先をドコモUIMカードにエクスポートします。エクスポートされる内容は名前／1件目の電話番号／1件目のメールアドレスのみとなり、最大50件まで保存できます。また、上書きでエクスポートする場合、ドコモUIMカード内の連絡先をすべて削除してからエクスポートされますので、ご注意ください。

SDカードからインポート：microSDカードに保存されている連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

SDカードにエクスポート：「プロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードに全件保存します。

表示可能な連絡先を共有：連絡先データをBluetooth通信もしくはメールに添付して全件送信します。

赤外線でインポート：連絡先データを赤外線通信で受信し、docomoアカウントに登録します。「プロフィール」も更新されます。受信後、［既存の電話帳に追加］または［電話帳を全削除した後に追加］を選択します。

赤外線でエクスポート：「プロフィール」を含めた連絡先データを赤外線通信で全件送信します。

✔お知らせ

- 他のFOMA端末との間で連絡先データの全件受け渡しをしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポート（→P56）や電話帳コピーツール（→P57）をご利用ください。
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「プロフィール」が受信されない場合があります。
- Bluetooth機能がONのときは、赤外線通信を利用できません。
- 本FOMA端末から、スマートフォン以外の端末へのBluetooth通信での連絡先全件送信はできません。

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 アプリケーションメニューで[電話帳コピーツール]

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

◆ 電話帳をmicroSDカードにエクスポート

1 microSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 [エクスポート]タブ画面で[開始]

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

◆ 電話帳をmicroSDカードからインポート

1 電話帳データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 [インポート]タブ画面でインポートしたいファイル選択→[上書き]／[追加]

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

◆ Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピー

1 [docomoアカウントへコピー]タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントを選択→「上書き」／「追加」

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

✔お知らせ

- 他FOMA端末の電話帳項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、［一括バックアップ］で作成したファイルは読み込むことができません。

プロフィールの編集

FOMA端末の電話番号を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

1 アプリケーションメニューで[連絡先]→MENU→[プロフィール]→MENU→[編集]→各項目を設定→[完了]

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	月額使用料	お申し込み
留守番電話サービス	有料	必要
キャッチホン	有料	必要
転送でんわサービス	無料	必要
発信者番号通知サービス	無料	不要
公共モード（ドライブモード）	無料	不要
公共モード（電源OFF）	無料	不要

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、20件まで録音でき、最大72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、発着信履歴に不在着信として記録され、ステータスバーに が表示されます。
- 本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ音声発信し、テレビ電話を「非対応」に設定してください。
- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに が表示されます。

❖ 留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：留守番電話サービスを開始する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言メッセージを録音する
急いでいるときなど早く伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れている間に「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。
ステップ3：留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしていることが通知される
ステップ4：伝言メッセージを再生する

1 ホーム画面で MENU →［設定］→［通話設定］→［ネットワークサービス設定］→［留守番電話サービス］

2 利用したい項目を選択

留守番電話サービス開始：［OK］をタップして、留守番電話サービスを開始します。
留守番呼出時間設定：呼出時間（0～120秒）を入力し、［OK］をタップします。呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されず、直接留守番電話サービスセンターにつながります。

留守番サービス停止：［OK］をタップして、留守番電話サービスを停止します。
留守番設定確認：現在の設定内容を確認します。
留守番メッセージ再生：［OK］をタップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージを再生します。
留守番サービス設定：［OK］をタップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示に従って設定を変更します。
メッセージ問合せ：伝言メッセージがあるかどうか確認します。
件数増加時鳴動設定：新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、音や振動でお知らせします。［通知音］または［バイブレーション］にチェックを付けます。
着信通知開始：電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内に入ったときにSMSでお知らせします。「全着信」ではすべての着信を通知、「発番号あり」では番号を通知している着信のみ通知します。
着信通知停止：［OK］をタップして、着信通知を停止します。
着信通知開始設定確認：現在の着信通知の設定を確認します。

3 ［OK］
- 利用する項目によっては、「OK」が表示されない場合もあります。

◆ キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、現在の通話を保留にして、新たに別の相手へ電話をかけることもできます。
- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

❖ キャッチホンの設定

1 **ホーム画面で MENU →［設定］→［通話設定］→［ネットワークサービス設定］→［キャッチホン］**

2 **利用したい項目を選択**
キャッチホンサービス開始：［OK］をタップして、キャッチホンサービスを開始します。
キャッチホンサービス停止：［OK］をタップして、キャッチホンサービスを停止します。
キャッチホンサービス確認：現在の設定内容を確認します。

3 ［OK］

❖ 通話中の着信応答

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえる**

2 **を右端までドラッグ**
- 最初の相手との通話を終了して応答する場合は、MENU →［現在の通話を終了して応答］をタップします。

3 **最初の相手との通話に切り替える**
あとからかかってきた相手との通話を終了：［終了］／MENU
あとからかかってきた相手との通話を保留：（切り替え）
- をタップするたびに通話相手が切り替わります。

❖通話中の電話発信

1 通話中に(保留)

2 [通話を追加]→別の相手の電話番号を入力

3

新しくかけた相手との通話を終了：[終了] ／ MENU

新しくかけた相手との通話を保留：(切り替え)

- をタップするたびに通話相手が切り替わります。

✔お知らせ

- キャッチホンをご契約いただいていない場合、通話中にをタップしても一時保留にはなりません。

◆ 転送でんわサービス

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスを開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、発着信履歴に不在着信として記録され、ステータスバーにが表示されます。

❖転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[通話設定]→[ネットワークサービス設定]→[転送でんわ]

2 利用したい項目を選択

転送サービス開始：転送先電話番号と呼出時間（0～120秒）を入力します（をタップすると連絡先を呼び出せます）。[OK] をタップして、転送でんわサービスを開始します。
呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されず、直接転送先に転送されます。

転送サービス停止：[OK] をタップして、転送でんわサービスを停止します。

転送先変更：転送先の電話番号を変更します（をタップすると連絡先を呼び出せます）。
「転送電話を開始する」にチェックを付けると、転送先の番号変更と同時に転送でんわサービスを開始します。[OK] をタップして変更を反映します。

転送先通話中時設定※：「接続する」を選択すると、転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送サービス設定確認：現在の設定内容を確認します。

※ 留守番電話サービスのご契約が必要です。

3 [OK]

✔お知らせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。
- 電話を転送後は、転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

❖転送ガイダンスの有無の設定

電話を転送するとき、電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流すかどうかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[電話]→「1429」を入力→

- 音声ガイダンスに従って設定してください。

◆ 発信者番号通知サービス

電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 **ホーム画面で MENU →[設定]→[通話設定]→[ネットワークサービス設定]→[発信者番号通知]**

2 **利用したい項目を選択**

発信者番号通知設定確認：現在の設定内容を確認します。

発信者番号通知設定：［通知する］をタップして、発信者番号通知を設定します。

3 **[OK]**

✔**お知らせ**

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。
- 電話をかけるたびに発信者番号の通知／非通知を指定することができます（→P52）。通話ごとに指定する設定のほうが、発信者番号通知設定よりも優先されます。

◆ 公共モード（ドライブモード）の設定

公共モード（ドライブモード）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（ドライブモード）に設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- 圏外など、電波が受信できないときでも設定／解除できます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中でも電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で MENU →[設定]→[音]**

2 **[公共モード]にチェック**

❖公共モード（ドライブモード）に設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。発着信履歴には不在着信として記録されます。

- メールなどの着信音や通知音、アラームも鳴りません。ただし、［タッチ操作音］、［選択時の操作音］（→P70）にチェックを付けていると、それらの操作音は鳴ります。
- 電源が入っていない場合は、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れずに圏外時と同じガイダンスが流れます。

◆ 公共モード（電源OFF）の設定

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 アプリケーションメニューで[電話]→「＊25251」を入力→

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）の解除：アプリケーションメニューで［電話］→「＊25250」を入力→

公共モード（電源OFF）の設定確認：アプリケーションメニューで［電話］→「＊25259」を入力→

❖公共モード（電源OFF）に設定すると

公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。

- サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面でMENU→［設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

プロフィール：お客様の電話番号や［プロフィール］に登録したご自身の情報を表示します。
初期設定：初めて電源を入れたときに行う設定画面を表示します。
無線とネットワーク：機内モードやWi-Fi、Bluetooth機能、Wi-Fiテザリングなどの設定を行います。
通話設定：ドコモのネットワークサービスやインターネット通話などの設定を行います。
音：公共モードやマナーモード、バイブレーション、着信音などのサウンド設定を行います。
表示：画面の自動回転や明るさ、フォント、アニメーションなどの画面設定を行います。
マルチメディア：YouTubeなどの動画の画質補正を設定します。
現在地情報とセキュリティ：現在地の設定や画面ロック、パスワードなどの設定を行います。
アプリケーション：アプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期：アカウントや同期に関する設定を行います。
プライバシー：データの初期化を行います。
ストレージ：空き容量表示やmicroSDカードのデータ消去などを行います。
言語とキーボード：使用言語やキーボードの設定を行います。
音声入出力：音声認識装置の設定やテキスト読み上げの設定を行います。
ユーザー補助：ダウンロードしたユーザー補助プラグインを使用可能にするかどうかを設定します。
日付と時刻：日付や時刻に関する設定を行います。
歩数計：歩数計に関する設定を行います。
端末情報：FOMA端末の各種情報を表示します。

✔お知らせ

- 初期設定については「初期設定」（→P31）を、通話設定については「利用できるネットワークサービス」（→P58）、「あわせるボイス」（→P53）を、現在地情報とセキュリティについては「位置情報サービスの設定」（→P107）、「ロック／セキュリティ」（→P46）をご覧ください。

無線とネットワーク

- 赤外線通信については「赤外線通信」（→P100）を、Bluetooth機能については「Bluetooth®通信」（→P100）をご覧ください。

◆アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
- Wi-Fiアクセスポイントがオンのときは、アクセスポイントの設定はできません。Wi-Fiアクセスポイントをオフにしてください。→P67

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面でMENU→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］

- 確認画面が表示された場合は、［OK］をタップします。

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

- 確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。

2 **MENU→[新しいAPN]**

3 **[名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]**

4 **[APN]→任意の名前を入力→[OK]**

5 **その他､通信事業者によって要求されている項目を入力→MENU→[保存]**

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名画面に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、[新しいAPN] で再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

- 確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。

2 **MENU→[初期設定にリセット]**

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖mopera Uの設定

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 **ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

- 確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。

2 **[mopera U(スマートフォン定額)]／[mopera U設定]を選択**

✔お知らせ

- [mopera U設定] は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- [mopera U（スマートフォン定額)] をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ 機内モードの設定

機内モードを設定すると、FOMA端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、Bluetooth機能）が無効になります。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]

2 [機内モード]にチェック

◆ Wi-Fi機能

FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、FOMA端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、FOMA端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- FOMA端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

■ 利用できるチャンネル

日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖ Wi-Fiをオンにしてネットワークに接続

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Wi-Fi]にチェック

Wi-Fiがオンになり、利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

3 [Wi-Fi設定]

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

4 Wi-Fiネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

❖ オープンネットワークの通知

Wi-Fiのオープンネットワークが検出された場合に通知するように設定します。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 [ネットワークの通知]にチェック

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 MENU→[スキャン]

Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、検出されたWi-Fiネットワークがwi-Fiネットワークリストに表示されます。

❖Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：[AOSS方式] → [はい] →アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す→[OK]

WPS方式：[WPS方式] → [プッシュボタン方式] ／ [PIN入力方式] → [はい] →アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、FOMA端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK] をタップします。

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 [Wi-Fiネットワークを追加]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは [なし] [WEP] [WPA/WPA2 PSK] [802.1x EAP] が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

✔お知らせ

- Wi-Fiをオフにしてwi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-Fiオン時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

❖Wi-Fiの詳細設定

■ 画面消灯時のWi-Fi設定

FOMA端末の画面がオフになったときや、充電中のWi-Fi機能の動作を設定します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 MENU→[詳細設定]→[画面消灯時Wi-Fi設定]

3 設定動作を選択

■ MACアドレスの確認

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 MENU→[詳細設定]

[MACアドレス]の下にMACアドレスが表示されます。

■ 静的IPアドレスの利用

静的IPアドレスを入力して、Wi-Fiネットワークに接続することもできます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 MENU→[詳細設定]

3 [静的IPを使用する]にチェック

4 [IPアドレス]およびその他の入力項目を選択→必要な情報を入力

- 静的IPアドレスを有効にするには、[IPアドレス]、[ゲートウェイ]、[ネットマスク]、[DNS 1]のすべてに入力が必要です。

◆ Wi-Fiテザリング

本FOMA端末ではWi-Fiによるテザリング機能を利用できます。本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器を携帯電話の回線を介してインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を5台まで同時接続できます。
- Wi-Fiアクセスポイントを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- Wi-Fiアクセスポイントを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリケーションが正常に動作しない場合があります。

■ 利用できるチャンネル

日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖Wi-Fiテザリングの設定

Wi-Fiアクセスポイントをオンにして、接続の設定を行います。

- お買い上げ時の状態では、セキュリティは[Open]に設定されています。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fiアクセスポイント]

2 [Wi-Fiアクセスポイント]にチェック

- チェックを外すと、Wi-Fiアクセスポイントがオフになります。

3 注意事項の内容を確認して[OK]

4 [Wi-Fiアクセスポイントの設定]→[Wi-Fiアクセスポイントを設定]

5 [ネットワークSSID]→ネットワークSSIDを入力

6 [セキュリティ]→セキュリティを選択

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA PSK TKIP］［WPA PSK AES］［WPA2 PSK AES］が設定可能です。

7 [パスワード]→パスワードを入力→[保存]

✔**お知らせ**

- ホーム画面でMENU→［設定］→［無線とネットワーク］→［Wi-Fiアクセスポイント］→［ヘルプ］で、Wi-Fiテザリングについての情報を見ることができます。

❖Wi-Fi対応機器の簡単登録

AOSS™に対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-Fiアクセスポイントをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fiアクセスポイント]

2 [Wi-Fi簡単登録]→[AOSS方式]→[はい]

3 Wi-Fi対応機器側でAOSS™ボタンを押す

4 [OK]

✔**お知らせ**

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は［はい］をタップしてください。

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。FOMA端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

❖VPNの追加

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

2 [VPNの追加]→追加するVPNの種類を選択

3 VPN設定の各項目を設定

- 設定内容については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

4 MENU→[保存]

VPN設定画面のリストに新たなVPNが追加されます。

❖VPNへの接続

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

❖VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択

- VPNが切断されると、ステータスバーの通知アイコンがグレーになります。通知パネルを開いて通知を選択すると、再接続できます。

◆ パケット接続の停止

- アプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信はVPNを切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]のチェックを外す

サウンド設定

- 公共モードについては「公共モード（ドライブモード）の設定」をご覧ください。→P61

◆ マナーモードの設定

電話やメールの着信音、アラーム音、メディア再生音などFOMA端末から鳴る音を消します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音]→[マナーモード]

2 [マナーモードを有効]にチェック

ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P31

✔お知らせ

- マナーモード設定中でも、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

マナーモード：FOMA端末から音を鳴らしません。

マナー（サイレント）：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。

マナー（アラーム）：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。

❖オリジナルマナーを設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]

2 [音量]

3 [音声着信音量]／[メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

4 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]→⮌

5 [バイブレーション]

6 [音声着信]／[アラーム]／[通知]にチェック／チェックを外す

◆音量調節

着信音、メディア再生音、アラーム、通知の音量を調節できます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音]→[音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]
- ［通知音にも着信音量を適用］のチェックを外すと、通知の音量を調節できます。

✔お知らせ
- ▲▼で着信音量を調節できます。ただし、音楽や動画の再生中などは各機能の音量調節キーになります。

◆着信音／通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音]

2 各項目を設定

バイブ：電話着信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
着信音：電話着信音を設定します。
通知音：USB接続時やUSBストレージをOFFにしたとき、測位開始などの通知音を設定します。
タッチ操作音：キーパッド操作音のオン／オフを切り替えます。
選択時の操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。
充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
ロック解除時バイブ：画面ロック解除時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ：タッチ操作時の振動のオン／オフを切り替えます。
バイブの強さ：バイブの強さを設定します。

✔お知らせ
- 連絡先に着信音を設定している場合は、連絡先の着信音が優先されます。

◆マイク入力の設定

FOMA端末のステレオイヤホン端子に市販のステレオイヤホンを接続しているときの、音声入力先を設定します。
- ステレオイヤホン接続時にも設定できます。→P99

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音]→[マイク入力]

2 [端末のマイク]／[イヤホンマイク]
- マイクなしのステレオイヤホンを接続している場合は［端末のマイク］を選択してください。

画面設定

◆ ロック画面の背景画像設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[表示]→[フォトスクリーン]

2 [画像設定]→各項目を設定

設定しない：ホーム画面の壁紙を表示します。
フォルダ：選択したフォルダの画像をスライドショー表示します。
Flickr：Flickrからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。
Picasa：Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。

- ［Flickr］／［Picasa］を選択した場合は、［更新間隔］と［利用するネットワーク］を設定します。
- ［更新間隔］で［指定時刻］を選択した場合は、［更新時刻の指定］をタップして時刻を指定します。

◆ 新着メールの表示設定

ホーム画面に新着表示を行うメールの種別を設定します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[表示]→[新着種別]

2 [spモードメール]／[Eメール]／[SMS]

✔**お知らせ**

- Gmailには対応していません。

◆ 画面表示の変更

❖ 画面の自動回転

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[表示]

2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✔**お知らせ**

- カメラやビデオ録画など一部のアプリケーションは本設定に従いません。

❖ 画面のバックライト設定

画面の明るさや、バックライトを消してスリープモードになるまでの時間を設定します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[表示]→[バックライト]

2 [自動調整]のチェックを外す→[明るさ]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、［自動調整］にチェックを付けたまま操作4に進みます。

3 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]

4 [消灯までの時間]→時間を選択

❖ 画面の表示フォント設定

画面の表示フォントを変更します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[表示]→[フォント]

2 フォントを選択→[OK]

❖アニメーション表示を設定

画面や項目を表示するときに、アニメーション表示するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で MENU →[設定]→[表示]→[アニメーション表示]

2 [アニメーションなし]／[一部のアニメーション]／[すべてのアニメーション]

マルチメディア設定

YouTubeなどの動画を自動補正するかどうかを設定できます。

1 ホーム画面で MENU →[設定]→[マルチメディア]

2 [動画補正エンジン]にチェック／チェックを外す

- チェックを付けると、高画質化エンジンを使用してYouTubeなどの動画を自動補正します。

✔お知らせ

- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、FWVGA以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。

アプリケーション

◆提供元不明のアプリケーションのインストールを許可

Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

- FOMA端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で MENU →[設定]→[アプリケーション]→[提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認後に[OK]

❖ダウンロードしたファイルの表示

Webサイトからダウンロードしたファイル（アプリケーション、画像、ドキュメントなど）の一覧を表示します。

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]→ MENU →[その他]→[ダウンロード履歴]

✔お知らせ

- Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

◆FOMA端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で MENU →[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

- MENU →［サイズ順］／［名前順］をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択

- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、［すべて］をタップします。

◆ アプリケーションのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

- MENU→［サイズ順］／［名前順］をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]

- ［データを消去］の場合は［OK］をタップします。

◆ アプリケーションの削除

- Androidマーケットから入手したアプリケーションは、Androidマーケット画面から削除することをおすすめします。→P105
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションによっては削除できません。また、削除した場合はFOMA端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

- MENU→［サイズ順］／［名前順］をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ 実行中のサービスの表示

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[アプリケーション]→[実行中のサービス]→サービス名を選択→目的の操作を行う

◆ ストレージ使用状況の確認

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[アプリケーション]→[ストレージ使用状況]

◆ アプリケーションの開発機能を利用

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[アプリケーション]→[開発]

- USBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/
- USBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
  http://developer.android.com/

❖ 充電中にバックライトを消灯しないように設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[アプリケーション]→[開発]→[スリープモードにしない]にチェック

アカウントと同期

◆アカウントの追加

1 **ホーム画面で MENU →［設定］→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］**

2 **アカウントを選択**

3 **各項目を設定**

- 追加したアカウントを、アカウントを管理リストでタップして、各アカウントを設定します。

■各アカウントに対応するアプリケーション

［アカウントを追加］の一覧画面に表示されるアカウントは、FOMA端末の次のアプリケーションや機能に対応しています。

- mixi：mixi、連絡先
- Twitter：Twitter、連絡先
- コーポレート：メール、連絡先、カレンダー

✔お知らせ

- FOMA端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- Picasaウェブアルバムへのログイン用に設定しているGoogleアカウントを、FOMA端末のGoogleアカウントとして登録してください。FOMA端末にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaウェブアルバムのアカウントを新規に取得しても、FOMA端末のGoogleアカウントの同期項目にPicasaは表示されません。

◆アカウントの削除

1 **ホーム画面で MENU →［設定］→［アカウントと同期］→アカウントを選択→［アカウントを削除］→［アカウントを削除］**

✔お知らせ

- 最初に設定したGoogleアカウントは、本操作では削除できません。最初に設定したGoogleアカウントを削除するには、FOMA端末をリセットします。→P75
- docomoアカウントは削除できません。

◆自動同期するGoogleアプリケーションの設定

FOMA端末とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 **ホーム画面で MENU →［設定］→［アカウントと同期］→［バックグラウンドデータ］にチェック→［自動同期］にチェック→アカウントを管理リストでGoogleアカウントを選択→各項目を設定**

✔お知らせ

- ［バックグラウンドデータ］にチェックを付けると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。さらに［自動同期］にチェックを付けると、アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。

◆手動で同期を開始

1 **ホーム画面で MENU →［設定］→［アカウントと同期］→アカウントを選択→ MENU →［今すぐ同期］**

❖同期の中止

1 **同期中に MENU →［同期をキャンセル］**

プライバシー

◆ FOMA端末の初期化

FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。FOMA端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[プライバシー]→[データの初期化]→[携帯電話をリセット]

- 「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、microSDカードのデータ消去も行います。
- 画面ロックを設定している場合は、画面ロック解除パターンまたは暗証番号／パスワードを入力します。

2 [すべて消去]

リセットが完了して少したつと、FOMA端末が再起動します。

✔**お知らせ**

- タッチパネル操作が正しく動作しない場合などに再起動する場合は、⏻を押し続けます。携帯電話オプションメニューが表示された後に電源が切れ、しばらくするとFOMA端末が振動し、お知らせLEDが緑色で点灯します。必ずお知らせLEDが点灯するまで押し続けてください。

microSDカードと内蔵メモリ

◆ FOMA端末、microSDカードのメモリ空き容量の確認

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[ストレージ]

- 画面上部にmicroSDカードの合計容量と空き容量、画面下部にFOMA端末の空き容量が表示されます。

◆ microSDカードのデータ消去

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- 画面ロックを設定している場合は、ロック解除パターン／暗証番号／パスワードを入力します。

3 [すべて消去]

FOMA端末内やWebサイトの検索

FOMA端末内の機能やWebサイトを検索します。音声で検索することもできます。

〈例〉キーワードを入力して検索する

1 ホーム画面でMENU→[検索]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

音声検索：入力欄右側のをタップ→送話口に向かってキーワードを発声

- アプリケーションからも音声検索を利用できます。→P35

検索対象の指定：入力欄左側のをタップ→検索対象を選択

- 検索対象選択画面の右上のをタップすると、検索対象とするFOMA端末内の機能を指定できます。

3 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 ホーム画面でMENU→[検索]→MENU→[検索設定]→各項目を設定

Google検索の設定：入力候補の表示やGoogleとの共有などを設定します。

- ［検索履歴］をチェックしてアカウントを設定すると、［検索履歴の管理］が利用できるようになります。

検索対象：検索対象とするFOMA端末内の機能を指定します。

ショートカットを消去：検索候補へのショートカットを削除します。

言語とキーボード

- ATOKについては「ATOKの設定」をご覧ください。→P42

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[言語とキーボード]→[Select locale]→[English]

✔お知らせ

- アプリケーションによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
ホーム画面でMENU→［Settings］→［Lang. & keyboard］→［言語選択］→［日本語］

◆ Androidキーボードの設定

Androidキーボードのキー操作音や入力候補表示などを設定します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[言語とキーボード]→[Androidキーボード]→各項目を設定

❖単語リストを登録

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[言語とキーボード]→[単語リスト]

2 MENU→[追加]

3 単語を入力→[OK]

✔お知らせ

- 登録した単語はATOKでは利用できません。

音声入出力

◆ 音声認識装置の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音声入出力]→[音声認識装置の設定]→各項目を設定

言語：Google音声検索時に入力する言語を設定します。
セーフサーチ：画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

◆ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグイン（TalkBackなど）をインストールしている場合に、読み上げ速度や読み上げ言語を設定します。

- テキスト読み上げ機能の利用には音声データのインストールが必要です。ただし、次の操作でインストールされる音声データには、日本語のデータは含まれません。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[音声入出力]→[テキスト読み上げの設定]

2 [音声データをインストール]

- インストール済みの場合は、［音声データをインストール］は選択できません。

3 画面の指示に従って音声データをインストール

4 各項目を設定

音声の速度：読み上げ速度を設定します。
言語：読み上げに使用する言語固有の音声を設定します。
- ［サンプルを再生］をタップするとサンプル音声を再生します。
- 設定をテキスト読み上げに対応したアプリケーションや機能で常に有効にするには、［常に自分の設定］にチェックを付けます。

ユーザー補助

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。

- お買い上げ時はユーザー補助プラグインが登録されていません。Androidマーケットからユーザー補助プラグイン（SoundBack、KickBack、TalkBackなど）を入手し、FOMA端末にインストールすることで設定できます。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[ユーザー補助]→各項目を設定

ユーザー補助：ユーザー補助サービスの有効／無効を設定します。
電源ボタンで終話：電源キーを押すと通話を終了できるように設定します。

日付と時刻

◆ 日付、タイムゾーン、時刻を手動で設定

お買い上げ時はネットワークから提供される日付、タイムゾーン、時刻が設定されますので、手動で設定する必要はありません。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[日付と時刻]

2 [自動]のチェックを外す→[日付設定]→年月日を調整→[設定]

3 [タイムゾーンの選択]→タイムゾーンを選択

4 [時刻設定]→時刻を調整→[設定]

5 [24時間表示]にチェック／チェックを外す

- チェックを外すと［時刻設定］で［午前］［午後］が選択できます。

6 [日付形式]→項目を選択

端末情報

◆ プロフィールの確認

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[プロフィール]

お客様の電話番号や［プロフィール］に登録したご自身の情報が表示されます。

◆ 端末情報やバージョン情報の確認

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：ソフトウェアを最新の状態にします。→P129

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを確認します。

電池使用量：アプリケーションごとの電池使用量を確認します。

法的情報：オープンソースライセンスやGoogle利用規約を確認します。

モデル番号：型番を確認します。

Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

歩数計

歩数計を利用するために必要な設定を行います。

- 歩数計を設定すると、ヘルスチェッカーなど歩数情報を利用するアプリケーションが使用できるようになります。
- 身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。ただし、身長と体重のデータは歩数情報を利用するアプリケーションとは連携していません。

❖歩数計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、歩行がFOMA端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- FOMA端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。

◆ 歩数計の設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[歩数計]

2 [歩数計利用]にチェック→[身長][体重]を入力→[登録]

歩数計の履歴をすべて削除：[全履歴削除]→[はい]

✔**お知らせ**

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。
- 歩数はFOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や空の状態で約1か月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メール／インターネット

FOMA端末で利用できるメールの種類

次のメールが利用できます。

■ Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントをFOMA端末に設定し、パソコンと同じようにEメールの送受信をします。

■ spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。

■ Gmail

GmailはGoogleのオンラインEメールサービスです。FOMA端末のGmailで送受信したEメールはパソコンのブラウザからも確認できます。

■ SMS

携帯電話番号を宛先とした短い文字メッセージを送受信します。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ mopera Uのメールアカウントの設定

mopera Uのアカウントを設定して、mopera Uメールを利用します。

- mopera Uメールのメールボックス容量は約50MBです。1メール当たり最大約5MBまでの添付ファイルを送受信できます。

■ POPサーバーを利用する場合

1. **アプリケーションメニューで[メール]**
2. **[メールアドレス]→mopera Uのメールアドレスを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[手動セットアップ]→[POP3]**
3. **[ユーザー名]→mopera UのユーザIDを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[POP3サーバー]→「mail.mopera.net」を入力**
4. **[セキュリティの種類]→セキュリティを選択**
5. **入力内容を確認→[次へ]**
6. **[SMTPサーバー]→「mail.mopera.net」を入力→mopera UのユーザIDとパスワードの入力内容を確認→[次へ]**
7. **オプションの設定画面で[受信トレイを確認する頻度]などを設定→[次へ]**
8. **メールアカウントの登録画面で[あなたの名前]→名前を入力→[完了]**

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面でMENU→［アカウント］→MENU→［アカウントを追加］をタップします。

◆ メールアカウントごとの受信設定

❖新着Eメールの自動確認の設定

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧からメールアカウントを選択します。

2 MENU→[アカウントの設定]→[受信トレイの確認頻度]→確認頻度を選択

✔お知らせ

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

❖新着Eメール通知の設定

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧からメールアカウントを選択します。

2 MENU→[アカウントの設定]

3 各項目を設定

メール着信通知：新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択：新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション：新着Eメールを振動でお知らせするかどうかを設定します。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 別のメールアカウントから送信する場合は、アカウント一覧からメールアカウントを選択します。
- 統合受信トレイが表示されている場合は、アカウント一覧画面でチェックの付いたメールアカウントから送信されます。

2 MENU→[作成]

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、MENU→［Cc／Bccを追加］をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メッセージを作成]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、MENU→［添付ファイルを追加］→ファイルを選択します。

6 [送信]

✔お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でPCからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧からメールアカウントを選択します。
- アカウント一覧画面で［統合受信トレイ］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの左側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには、MENU→[更新]

3 Eメールを選択

✔お知らせ

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度（→P81）とメール着信通知（→P81）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示→[返信]／[全員に返信]→[メッセージを作成]→メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示→MENU→[転送]→[To]→メールアドレスを入力→[送信]

◆ Eメールを削除

1 Eメールを表示→[削除]

◆ Eメールのバックアップ／復元

EメールをmicroSDカードにバックアップしたり、FOMA端末に復元したりします。

1 アプリケーションメニューで[メール]→MENU→[アカウント]→MENU→[バックアップ／復元]

2 [microSDへバックアップ]／[本体へ復元]→[開始]→[OK]

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード〈スマートフォン〉編）』をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[spモードメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。FOMA端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

■ メッセージスレッドについて

Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着のEメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや既存のEメールの件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

❖Gmailアカウントの切り替え

1 受信トレイで MENU →[アカウント]

2 Gmailアカウントを選択

❖Gmailの更新

1 受信トレイで MENU →[更新]

FOMA端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

◆ GmailでEメールを作成して送信

1 受信トレイで MENU →[新規作成]

2 [To]→メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、MENU →［Cc／Bccを追加］をタップします。

3 [件名]→件名を入力

4 [メッセージを作成]→メッセージを入力

- 画像を添付する場合は、MENU →［添付］→画像を選択します。

5 (送信アイコン)

✔お知らせ

- Gmailで送信するEメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でPCからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Gmailの送信済みEメール表示

1 受信トレイで MENU →[ラベルを表示]→[送信済みメール]

◆ Gmailの新着Eメール表示

1 受信トレイで未読Eメールがあるメッセージスレッドを選択

✔お知らせ

- メール着信通知（→P84）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。
- 受信したEメールの送信者名は、連絡先に保存している名前ではなく送信側で設定している名前が表示されます。

◆ GmailのEメール検索

1 受信トレイで MENU →[検索]

2 検索ボックスにキーワードを入力→

◆ GmailでEメール返信

1 Eメールを表示→→[返信]／[全員に返信]

2 [メッセージを作成]→メッセージを入力→

◆ GmailでEメール転送

1 Eメールを表示→→[転送]

2 [To]→メールアドレスを入力→

◆ Gmailのメッセージスレッド操作

受信トレイでメッセージスレッドを1秒以上タッチすると、次の操作ができます。

開く：メッセージスレッドを展開します。
アーカイブ：メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは受信トレイに表示されません。
ミュート：メッセージスレッドを非表示にします。
未読にする／既読にする：メッセージスレッドを未読／既読にします。
削除：メッセージスレッドを削除します。
スターを付ける／スターをはずす：メッセージスレッドにスターを付ける／外します。
ラベルを変更：メッセージスレッドのラベルを追加／変更します。
迷惑メールを報告：受信したEメールをスパムとして報告します。
ヘルプ：Googleのオンラインヘルプを利用します。

✔**お知らせ**

- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったメッセージスレッドは、MENU→［ラベルを表示］→［すべてのメール］をタップして表示します。
- FOMA端末ではラベルを作成できません。GmailのWebサイトで作成してください。

◆ Gmailの新着Eメール通知の設定

1 受信トレイで MENU →[その他]→[設定]

2 各項目を設定

メール着信通知：新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択：新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション：新着Eメールを振動でお知らせするかどうかを設定します。
一度に通知する：複数の新着Eメールがある場合の通知方法を設定します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→[新規作成]

2 [To]→携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✔お知らせ

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
- アプリケーションメニューで［メッセージ］→MENU→［設定］→［受取確認通知］にチェックを付けると、SMSの受取確認通知を設定できます。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本FOMA端末からSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせることはできません。
- FOMA端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- FOMA端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリケーションを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→P73、105

◆ 送受信したSMSの表示

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

◆ SMSに返信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSを選択（1秒以上）→[転送]

3 [To]→携帯電話番号を入力→[送信]

◆ SMSを削除

〈例〉SMSを1件削除する

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSを選択（1秒以上）→[メッセージを削除]

メッセージスレッドの削除：メッセージスレッドを選択（1秒以上）→［スレッドを削除］
すべてのメッセージスレッドの削除：MENU→［スレッドを削除］

3 [削除]

◆ SMSの自動削除の設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→MENU→[設定]

2 [古いメッセージを削除]にチェック→[メッセージの制限件数]

3 メッセージスレッドごとの制限件数を入力→[設定]

✔お知らせ

- 次の操作で削除したくないSMSを保護します。
  アプリケーションメニューで［メッセージ］→メッセージスレッドを選択→SMSを選択（1秒以上）→［メッセージをロック］

◆ SMSのバックアップ／レストア

SMSをmicroSDカードにバックアップしたり、FOMA端末にレストアしたりします。

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→MENU→[設定]→[バックアップ]

2 [バックアップ]／[レストア]→[開始]→[OK]

◆ SMSをドコモUIMカードからコピー

他のFOMA端末でドコモUIMカードに保存したSMSを本FOMA端末にコピーします。

- 本FOMA端末のSMSをドコモUIMカードにコピーすることはできません。

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→MENU→[設定]→[SIMカードのメッセージ]

2 SMSを選択（1秒以上）→[携帯電話のメモリにコピー]

- SMSを選択（1秒以上）→［削除］→［OK］をタップするとSMSを削除できます。

✔お知らせ

- ドコモUIMカードのSMSから返信や転送などを行う場合は、本FOMA端末にコピーしてから行ってください。

◆ 新着SMS通知の設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→MENU→[設定]

2 各項目を設定

通知：新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択：新着SMSをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション：新着SMSを振動でお知らせするかどうかを設定します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 電源が入っていない、通話中、機内モード中、Wi-Fiテザリング通信中、SMS送受信中、パケット通信中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中、FOMA端末のメモリ容量が少ないときなどは受信できません。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- エリアメールはメッセージに保存されます。エリアメールの受信時の注意事項や表示、削除などの操作方法は、SMSと同様です。→P85

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、エリアメールを確認します。

- ブザー音または着信音は最大音量で約10秒間鳴動します。変更はできません。
- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中などに受信した場合は各機能の設定に従います。

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→MENU→[設定]→[受信設定]にチェック／チェックを外す

Googleトーク

Googleトークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。FOMA端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Googleトーク起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ オンラインチャット

❖Googleトークの起動

1 アプリケーションメニューで[トーク]

友だちリストが表示されます。

❖新しいメンバーを追加

1 友だちリストでMENU→[友だちを追加]

2 メンバーのGoogleアカウントを入力→[招待状を送信]

✔お知らせ

- 友だちリストでMENU→［その他］→［招待］をタップすると、返信待ちの招待状が表示されます。招待状を受信した相手が承諾するかキャンセルすると、返信待ちの招待状リストから削除されます。

❖招待に応じる

1 友だちリストで[チャットへの招待]→[承諾]

❖オンラインステータスの設定

1 **友だちリストで自分の名前を選択**

2 **オンラインステータスを選択**

- 必要に応じて［ステータスメッセージ］にステータスメッセージを入力します。入力したステータスメッセージは、次回オンラインステータスを選択するとき、カスタムメッセージとして表示されます。

✔お知らせ

- チャット中にしばらく操作を中断すると、ステータスのオンライン状態のアイコンが時計マークの表示になることがあります。チャットする双方で操作を開始すると、時計マークは表示されなくなります。

❖チャットの開始

1 **友だちリストで友だちの名前を選択**

チャット画面が表示されます。

2 **［メッセージを入力］→メッセージを入力**

- 絵文字を入力する場合は、MENU→［その他］→［絵文字を挿入］→絵文字を選択します。

3 **［送信］**

❖チャットの相手の切り替え

2人以上の相手とチャットしているとき、相手を切り替えます。

1 **チャット画面でMENU→［チャット相手の切替］→相手を選択**

❖チャットのオフレコ

チャットのメッセージはGmailの［チャット］ラベルに保存されますが、オフレコにすると保存されません。

1 **チャット画面でMENU→［オフレコにする］**

以降のメッセージがオフレコになります。

✔お知らせ

- オフレコを解除するには、チャット画面でMENU→［オフレコをやめる］をタップします。

❖チャットを終了する

1 **チャット画面でMENU→［チャット終了］**

◆ メンバーの管理

友だちリストのメンバーは、オンラインステータス別（オンライン、取り込み中、オフライン）に表示されます。
設定によっては、Eメールやチャットの履歴が多いメンバーのみが優先的に表示されている場合があります。登録しているすべてのメンバーを表示するには、友だちリストでMENU→［全連絡先表示］をタップします。

✔お知らせ

- Eメールやチャット履歴が多いメンバーのみの表示に戻す場合は、友だちリストでMENU→［よく使う連絡先］をタップします。

❖メンバーのブロック

メンバーをブロックして、ブロックしたメンバーからメッセージを受信しません。

1 友だちリストでメンバーの名前を選択（1秒以上）→［ユーザーをブロック］

ブロックされたメンバーが友だちリストから削除されます。

✔お知らせ

- ブロックを解除するには、友だちリストでMENU→［その他］→［ブロック中］→メンバーを選択→［OK］をタップします。

❖メンバーの情報表示

1 友だちリストでメンバーの名前を選択（1秒以上）

- すべてのメンバーを表示するにはMENU→［全連絡先表示］をタップします。

2 ［ユーザー情報］

- ニックネームを入力すると、友だちリストにニックネームが表示されます。

3 確認したら［完了］

◆モバイルインジケーターについて

メンバーがAndroid搭載の携帯電話からログインしているときは、友だちリストでメンバーの名前の右横にモバイルインジケーター（ ）が表示されます。
次の設定を行うと、モバイルインジケーターを他のメンバーの友だちリストに表示／非表示することができます。

1 友だちリストでMENU→［設定］→［モバイルインジケーター］にチェック

◆新着メッセージ通知の設定

1 友だちリストでMENU→［設定］

2 各項目を設定

チャットの通知：メッセージがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択：新着メッセージをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション：新着メッセージを振動でお知らせするかどうかを設定します。

◆自動ログインの設定

FOMA端末の電源を入れたときにGoogleトークに自動でログインするように設定します。

1 友だちリストでMENU→［設定］→［自動ログイン］にチェック

◆ログアウト

1 友だちリストでMENU→［ログアウト］

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本FOMA端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。
- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：画面をフリックしてズームコントロールを表示します。で拡大し、で縮小します。
- 現在表示しているWebページの拡縮率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]
ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 ／Webサイトを選択

◆ 新しいブラウザウィンドウを開く

- 最大8つのブラウザウィンドウを開くことができます。

1 Webサイト表示中にMENU→[ウィンドウ]

2 [新規]
新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。
切り替え：ブラウザウィンドウを中央に表示→ブラウザウィンドウを選択
閉じる：ブラウザウィンドウを中央に表示→

✔お知らせ
- Webサイト表示中にMENU→［新しいウィンドウ］をタップしても新しいブラウザウィンドウを開けます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中にMENU→[ブックマーク]→[履歴]

2 履歴の種別を選択
- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］をタップします。

3 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してすばやく表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に MENU →[ブックマーク]

ブックマーク一覧が表示されます。

- MENU → [リスト表示] ／ [サムネイル表示]で、リスト表示とサムネイル表示を切り替えられます。

2 [追加]

- リスト表示の場合は、[現在のページをブックマーク] をタップします。

3 [OK]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に MENU →[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

編集：ブックマークを選択（1秒以上）→ [編集] →各項目を設定→ [OK]

削除：ブックマークを選択（1秒以上）→ [削除] → [OK]

◆ ブックマークのバックアップ／レストア

ブックマークをmicroSDカードにバックアップ／FOMA端末にレストアします。

1 Webサイト表示中に MENU →[その他]→[設定]→[バックアップ]

2 [SDカードへバックアップ]／[本体へレストア]→[開始]→[OK]

◆ Webサイトの表示方法を変更

❖Webサイトを常に横向きに表示

1 Webサイト表示中に MENU →[その他]→[設定]→[常に横向きに表示]にチェック

❖デフォルトの倍率を変更

Webサイトでダブルタップしたときの拡大倍率を設定します。

1 Webサイト表示中に MENU →[その他]→[設定]→[デフォルトの倍率]→倍率を選択

❖文字サイズの変更

1 Webサイト表示中に MENU →[その他]→[設定]→[テキストサイズ]→文字サイズを選択

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

URLの場合

- **タップ**：Webサイトを開きます。
- **1秒以上タッチ**：URLをブックマークに登録、メールで送信、コピーできます。

電子メールアドレスの場合

- **タップ**：メールを作成できます。
- **1秒以上タッチ**：メールアドレスをコピーできます。

電話番号の場合

- **タップ**：電話番号に発信できます。
- **1秒以上タッチ**：電話番号を連絡先に追加、コピーできます。

ファイルの場合

- **タップ**：ファイルを閲覧、保存できます。
- **1秒以上タッチ**：ファイルを保存できます。

✔お知らせ

- 保存したファイルは、ThinkFree Office eやダウンロード履歴などで確認できます。
- Basic認証またはSSL通信を必要とするWebサイトからは、ファイルをダウンロードできません。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択（1秒以上）→［画像を保存］

- 保存した画像は、ギャラリー（→P96）やダウンロード履歴で確認できます。

◆ Webサイトのテキストをコピー

コピーしたテキストは、他のアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

1 Webサイト表示中にMENU→［その他］→［テキストを選択してコピー］→テキストの上でスライド

選択されたテキストがオレンジでハイライト表示されます。

2 ハイライト表示されたテキストを選択

- コピーしたテキストを貼り付けるには、文字入力画面でテキスト挿入位置を選択（1秒以上）→［貼り付け］の操作をします。

◆ ホームページの設定

ブラウザを起動したときや、新しいブラウザウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。

1 Webサイト表示中にMENU→［その他］→［設定］→［ホームページ設定］→URLを入力→［OK］

◆ 履歴やキャッシュの削除

1 Webサイト表示中にMENU→［その他］→［設定］→［キャッシュを消去］／［履歴消去］／［Cookieをすべて消去］／［フォームデータを消去］／［位置情報アクセスを消去］／［パスワードを消去］→［OK］

◆ セキュリティの設定

1 Webサイト表示中にMENU→［その他］→［設定］→各項目を設定

JavaScriptを有効にする：チェックを外すと、安全性をより高めることができます。

プラグインを有効にする：［オンデマンド］または［OFF］に設定すると、ブラウザの拡張機能の利用が禁止され、安全性をより高めることができます。

Cookieを受け入れる：チェックを外してCookieの保存と読み取りを禁止すると、安全性をより高めることができます。

パスワードを保存：チェックを外してWebサイト閲覧中に入力したサイトのユーザー名とパスワードを保存しないようにすると、安全性をより高めることができます。

セキュリティ警告：チェックを付けると、サイトの安全性に問題がある場合に警告が表示されます。セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。

✔お知らせ

- Cookieを禁止すると、一部のウェブサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

マルチメディア

カメラ

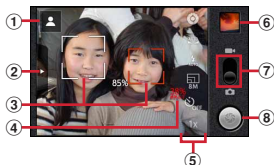
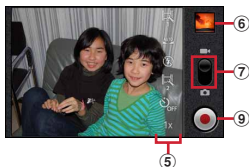
◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- マナーモード、公共モードの設定に関わらず、シャッター音などは鳴ります。
- AFモードが［接写］のときは約8～10cm、シーン別撮影が［自動シーン認識］のときは約8cm以上、被写体とカメラを離してください。
- オートフォーカスでピントを合わせられる距離はAFモードが［標準］のときは約30cm以上です。また、AFモードが［接写］のときは約8cm～40cmです。
- 撮影した静止画／動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。撮影する前にmicroSDカードを取り付けてください。→P24

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① 自動シーン認識アイコン
② メニュー表示用タブ（左側のメニューが表示）
③ フォーカス枠、顔検出枠
④ 検出された人物の名前（サーチミーフォーカス）
⑤ 撮影設定メニュー
⑥ 最後に保存した静止画／動画の表示／再生
⑦ 静止画撮影／動画撮影の切り替え用つまみ
⑧ シャッターボタン
⑨ 録画開始／終了ボタン

◆ 静止画撮影

1 **アプリケーションメニューで[カメラ]→撮影画面に被写体を表示→**

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム（最大）／解除：撮影画面内でダブルタップ
ギャラリーの表示：MENU→［ギャラリー］

◆ 静止画の撮影設定メニュー

静止画撮影画面のボタンから、次の操作ができます。
- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- 設定を変更すると、別の設定が自動的に変更されることがあります。

❖ 左側のメニュー

静止画撮影画面に表示されているメニュー表示用タブをタップまたはスライドすると次のメニューが表示されます。

■ ベストショットセレクト

撮影動作を行う前後の静止画を7枚撮影します。撮影後、FOMA端末がベストショットを推薦します。
- 推薦されるベストショットは、笑顔度、目つぶり、ブレから判断されます。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせた撮影設定に切り替えます。
- ［自動シーン認識］にすると、最適なシーン（標準・人物・夜景・風景・接写）に切り替えます。また、撮影画面上にQRコードを認識すると自動的にデータを読み取ります。

■ 笑顔シャッター

撮影対象の笑顔度が設定値に達したとき自動的に撮影することができます。

■ 位置情報を記録する

位置情報の記録のON／OFFを切り替えます。

❖ 右側のメニュー

■ AFモード、追跡フォーカス、タッチオートフォーカス、サーチミーフォーカス、明るさ調整、色効果、ちらつき調整、カメラ設定

AFモード：被写体に合わせて、オートフォーカスのモードを切り替えます。
追跡フォーカス：被写体を追跡してピントを合わせ続けます。

タッチオートフォーカス：タッチした箇所または顔検出枠にフォーカスロックします。

サーチミーフォーカス：サーチミーフォーカスの個人認識データとして登録すると、登録した顔が自動的に判別されて、名前が表示されます。

- 登録した顔は、優先的にピントや明るさが調整されます。
- 登録した顔が複数ある場合は、優先度の番号が若い人物の顔検出枠が赤色になります。

明るさ調整：画像の明るさを設定します。

色効果：色効果を設定します。

ちらつき調整：蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。

- ［自動］で不十分なときは、利用している地域に合わせて設定してください。

カメラ設定：カメラの各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- サーチミーフォーカスの個人認識データは削除されません。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ フラッシュモード

フラッシュのオート／ON／OFFを切り替えます。

■ 表示サイズ

画像サイズを選択します。

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ ズーム

撮影倍率を変更し被写体を拡大して撮影します。

◆ 動画撮影

1 **アプリケーションメニューで［動画撮影］→撮影画面に被写体を表示→◉**

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

2 **◉**

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

■ 動画撮影画面の主な操作

ズーム（最大）／解除：撮影画面内でダブルタップ

- 動画撮影中は変更できません。

ギャラリーの表示：MENU→［ギャラリー］

◆ 動画の撮影設定メニュー

動画撮影画面のボタンから、次の操作ができます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。

■ AFモード、明るさ調整、色効果、シーン別撮影、ちらつき調整、カメラ設定

AFモード：被写体に合わせて、オートフォーカスのモードを切り替えます。

明るさ調整：画像の明るさを設定します。

色効果：色効果を設定します。

シーン別撮影：被写体や状況に合わせた撮影設定に切り替えます。

ちらつき調整：蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。

- ［自動］で不十分なときは、利用している地域に合わせて設定してください。

カメラ設定：カメラの各設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ フラッシュモード

フラッシュのON／OFFを切り替えます。

■ 動画の画質、サイズ選択、録画音声

動画の画質：撮影する画像の画質を選択します。

サイズ選択：画像サイズを選択します。

録画音声：録画音声のON／OFFを切り替えます。

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ ズーム

撮影倍率を変更し被写体を拡大して撮影します。

- 撮影倍率の表示は目安です。

バーコードリーダー

JANコード（JAN8、JAN13）、NW7コード、CODE39コード、QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

◆ バーコードの読み取り

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 アプリケーションメニューで[バーコードリーダー]→撮影画面にコードを表示

自動的にコードが読み取られます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。

静止画撮影／動画撮影の切り替え：MENU→［カメラ切替］→［静止画］／［動画］

ライトのON／OFF：MENU→［ピクチャーライトをON／OFFにする］

履歴の表示：MENU→［履歴］

ヘルプの表示：MENU→［ヘルプ］

ちらつき調整の変更：MENU→［ちらつき調整］→自動を選択／50Hz（東日本）を選択／60Hz（西日本）を選択

2 読み取りデータを確認

データの保存：MENU→［履歴を保存］→履歴欄をタップ

❖バーコードデータの主な利用

読み取り結果表示画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

電話帳に一括登録：MENU→［電話帳一括登録］→各項目を設定→［登録］

メールの作成：メールアドレス選択

サイトまたはホームページに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録：MENU→［ブックマークに登録］

電話をかける：電話番号を選択→［電話］

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりしてmicroSDカードに保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。
  静止画：JPEG、BMP、GIF、PNG
  動画：WMV、H.264、H.263、MPEG4

◆ 画像の表示／再生

1 アプリケーションメニューで[ギャラリー]→アルバムを選択→画像を選択

- 動画は画像一覧で ● が表示されます。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

✔お知らせ

- アルバム一覧で右上の📷をタップすると、カメラが起動します。
- 画像一覧で右上のの をタップすると、画像を日付別に分類します。日付別のアルバムをタップすると、すべての画像が一覧表示されますが、選択したアルバムの画像の枠は太く表示されます。

❖静止画表示中の操作

- [縮小アイコン]／[拡大アイコン]で縮小／拡大します。
- ［スライドショー］をタップすると、画像を順番に表示します。
- ［メニュー］→［共有］を選択すると、送信方法を選択して静止画を送付できます。
- ［メニュー］→［削除］を選択すると、静止画を削除できます。
- ［メニュー］→［その他］を選択すると、詳細情報の確認、壁紙や連絡先のアイコンに設定、トリミング、左右に回転ができます。

❖動画再生中の操作

- ▲▼で音量を調節します。
- 画面をタッチして表示されるキーやプログレスバーで、再生／一時停止、巻き戻し／早送りなどの操作をします。

❖画像一覧での操作

- 画像を1秒以上タッチすると、チェックが表示され選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像を選択した状態で画面上部の［全選択］／［全解除］をタップすると、画像の全選択／全解除ができます。
- 静止画を選択した状態で［共有］／［削除］／［その他］をタップすると、静止画表示中と同様の操作ができます。
- 動画を選択した状態では次の操作ができます。
  - ［共有］をタップすると、送信方法を選択して動画を送付できます。
  - ［削除］をタップすると、動画を削除できます。
  - ［その他］をタップすると、動画の詳細情報を確認できます。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを使用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。

- パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「microSDカードのデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P103
- 再生可能なファイル形式／コーデックは次のとおりです。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
  WMA、AAC、MP3、AMR、OGG Vorbis、WAVE（PCM）、MIDI、XMF／MXMF、RTTTL／RTX、OTA、iMelody

◆音楽再生

1 **アプリケーションメニューで［音楽］→［アーティスト］／［アルバム］／［曲］／［プレイリスト］**

- ［曲］をタップした場合は、操作3に進みます。

2 **アイテムを選択**

- アイテムを1秒以上タッチして［再生］をタップすると、アイテム内の全曲が再生されます。

3 **曲を選択**

❖再生画面の操作

① 再生中のアイテム内の曲をリスト表示
② シャッフルのON／OFF
③ 全曲繰り返し／現在の曲繰り返し／繰り返しOFF
④ アーティスト名／アルバム名／曲名
1秒以上タッチすると関連するコンテンツの検索
⑤ 再生時間が2秒未満でタップすると前の曲に移動／再生時間が2秒以上でタップすると曲の先頭に移動／1秒以上タッチすると巻き戻し
⑥ 一時停止／再生
⑦ 次の曲に移動／1秒以上タッチすると早送り
⑧ スライドで再生位置を指定
▲▼：音量調整

◆プレイリストを作成

1 再生画面でMENU→[プレイリストに追加]→[新規]→プレイリスト名を入力→[保存]

❖プレイリストに曲を追加

1 再生画面でMENU→[プレイリストに追加]→プレイリストを選択

❖プレイリストの曲の並べ替え

1 プレイリスト画面でプレイリストを選択→曲の▦を移動先にドラッグ

❖プレイリストから曲を削除

1 プレイリスト画面でプレイリストを選択→曲を選択(1秒以上)→[プレイリストから削除]

◆着信音に設定

1 アプリケーションメニューで[音楽]→[アーティスト]／[アルバム]／[曲]／[プレイリスト]
- [曲]をタップした場合は、操作3に進みます。

2 アイテムを選択

3 曲を選択(1秒以上)→[着信音に設定]

◆関連するコンテンツを検索

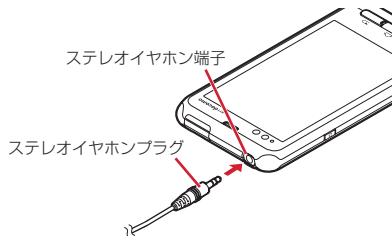
1 アプリケーションメニューで[音楽]→[アーティスト]／[アルバム]／[曲]／[プレイリスト]

2 アイテムを選択(1秒以上)／曲を選択(1秒以上)→[検索]

3 [YouTube]／[ブラウザ]／[音楽]
指定したメディア内でコンテンツが検索されます。

ステレオイヤホン

FOMA端末にステレオイヤホンを取り付けて、動画や音楽の再生音をイヤホンで聞きます。

1 **ステレオイヤホン(別売)のプラグをFOMA端末のステレオイヤホン端子に差し込む**

2 **イヤホン接続時マイク選択画面が表示されたら[端末のマイク]/[イヤホンマイク]**

- マイク入力の設定→P70

YouTube

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどができます。

1 **アプリケーションメニューで[YouTube]**

動画の一覧画面が表示されます。

:動画を録画してアップロード

:キーワードを入力して動画を検索

- 初回起動時は、リンク先の利用規約を確認し、[同意する]をタップすると動画の一覧画面が表示されます。

2 **動画を選択**

- 画面をタップすると一時停止/再生の切り替えができます。
- 画面をダブルタップまたはFOMA端末を横画面にすると、再生画面を拡大できます。拡大時には再生位置を指定するスライダーや、高画質(HQ)再生のオン/オフ設定アイコン()が表示されます。

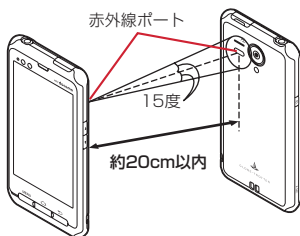
✔お知らせ

- 動画補正エンジンにチェックを付けると、高画質化エンジンを使用して再生できます。→P72
- 数百MB以上の大容量の動画ファイルは、パソコンからアップロードしてください。ネットワーク環境によりFOMA端末からはアップロードできない場合があります。

ファイル管理

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話などと連絡先を送受信します。

- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

❖赤外線通信でプロフィールを送信

1 アプリケーションメニューで[プロフィール情報]→MENU→[赤外線送信]→受信側を受信待ち状態にする→項目を選択→[送信]→[OK]

❖赤外線通信で連絡先を送信

1 アプリケーションメニューで[連絡先]→連絡先を選択→受信側を受信待ち状態にする→MENU→[赤外線送信]→[OK]

❖赤外線通信で連絡先を受信

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[赤外線受信]

2 [1件受信]→データ受信後に[既存の電話帳に追加]→[OK]

全件受信：[全件受信] →送信側と同じ4桁の認証パスコードを入力→ [受信] →データ受信後に[既存の電話帳に追加] ／ [電話帳を全削除した後に追加] → [OK]

Bluetooth®通信

FOMA端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信します。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P130
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。FOMA端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに ✱ が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で MENU →［設定］→［無線とネットワーク］

2 ［Bluetooth］にチェック

Bluetooth機能OFF：**［Bluetooth］のチェックを外す**

- 通知パネルの設定ボタンでもON／OFFを設定できます。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに ✱ が表示されます。

1 ホーム画面で MENU →［設定］→［無線とネットワーク］

2 ［Bluetooth］にチェック→［Bluetooth設定］→［デバイスのスキャン］

3 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］／ペア設定する

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］をタップするか、［ペア設定する］をタップしてください。

✔お知らせ

- Bluetooth設定からペア設定済みのBluetooth機器を1秒以上タッチ→［オプション］をタップすると、接続種別を選択できます。
- Bluetooth機器からFOMA端末を検出できない場合は、Bluetooth設定の［検出可能］をチェックします。チェックを外すと検出許可を解除します。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P96）や連絡先などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像を選択（1秒以上）

2 ［共有］→［Bluetooth］

- Bluetooth機能がOFFの場合は、確認画面で［ONにする］をタップしてください。

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

- 新たにBluetooth機器を検出する場合は［デバイスのスキャン］をタップします。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

- Bluetooth機器からFOMA端末を検出できない場合は、Bluetooth設定の［検出可能］をチェックします。

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→［Bluetooth共有：ファイル着信］→［承諾］

転送確認画面から受信したファイルを確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面でMENU→［設定］→［無線とネットワーク］→［Bluetooth設定］

2 Bluetooth機器をタッチ（1秒以上）→［接続を解除］／［切断してペアを解除］

- Bluetooth機器をタップして、接続解除画面で［OK］をタップしても、接続解除できる場合があります。

◆ Bluetooth通信での端末名変更

1 ホーム画面でMENU→［設定］→［無線とネットワーク］→［Bluetooth］にチェック→［Bluetooth設定］

2 ［端末名］→端末名を入力→［OK］

microSDカードのデータをパソコンから操作

付属のPC接続用USBケーブル T01でFOMA端末とパソコンを接続すると、FOMA端末のmicroSDカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識され、microSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。
- FOMA端末でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを終了してから操作してください。

1 FOMA端末とパソコンをPC接続用USBケーブルで接続

2 [USBストレージをONにする]→[OK]

3 パソコン側で該当のリムーバブルディスクを表示

4 microSDカードとパソコンの間で、データをドラッグ＆ドロップ

✔**お知らせ**

- microSDカードがパソコンにマウントされると、カメラなどmicroSDカードを使用するアプリケーションは利用できません。

◆ PC接続用USBケーブルの安全な取り外し

- データ転送中にPC接続用USBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 パソコン側でハードウェアの安全な取り外しを実行

2 [USBストレージをOFFにする]→PC接続用USBケーブルを取り外す

アプリケーション

Androidマーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信することができます。

- Androidマーケットを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Androidマーケット起動時に画面の指示に従って設定してください。

1 アプリケーションメニューで[マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。

- 初回起動時はAndroidマーケット利用規約を読み、［同意する］をタップします。

✔お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

◆ Androidマーケットのヘルプ

1 Androidマーケット画面でMENU→[ヘルプ]

◆ アプリケーションを検索してインストール

1 Androidマーケット画面でアプリケーションを検索

2 アプリケーションを選択→詳細画面で価格、総合評価、ユーザーの意見などを確認

3 [無料](無料アプリケーションの場合)または金額ボタンをタップ(有料アプリケーションの場合)

- 有料アプリケーションの購入→P105
- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で［OK］をタップすると、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［OK］をタップします。

4 一覧画面でインストール中のアプリケーションを選択→ダウンロードの進捗状況を確認

- ダウンロードを停止する場合は、［キャンセル］をタップします。
インストールが完了すると、ステータスバーに が表示されます。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます。→P77

◆ アプリケーションの購入

アプリケーションが購入制の場合は、ダウンロードする前に購入してください。規定の時間試用することができます。規定の時間以内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金はかかりません。

1 **Androidマーケット画面でアプリケーションを検索→アプリケーションを選択**

2 **金額ボタンをタップ**

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で［OK］をタップすると、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［OK］をタップします。

3 **[支払い方法を選択]→支払い方法を選択→[OK]**

- 初回購入時はGoogle Checkout支払い請求サービスにログインします。Google CheckoutはGoogleの提供するサービスで、FOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。詳しくはAndroidマーケット画面でMENU→［ヘルプ］→［アプリケーションの購入］をご覧ください。
- Google Checkoutアカウントを持っていない場合は、画面の指示に従ってフォームに入力してください。
- FOMA端末にはGoogle Checkout PINが記憶されるため、画面ロックを設定し、FOMA端末のセキュリティを確保してください。→P48

4 **[払い戻しポリシー]、[Googleの請求とプライバシーポリシー]→文書を読む→⮌**

5 **Google Checkoutのサービス条項に同意して[今すぐ購入]**

インストールが完了すると、ステータスバーに🛍が表示されます。

■ 返金要求について

アプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

◆ Androidマーケットのアプリケーションの削除

1 **Androidマーケット画面で[マイアプリ]**

2 **アプリケーションを選択**

3 **[アンインストール]→[OK]**

- 有料アプリケーションで［アンインストールと払い戻し］が表示されない場合、試用期間が終了しています。

4 **理由を選択→[OK]**

ドコモマーケット

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモマーケット]

ブラウザが起動し、ドコモマーケットが表示されます。

✔お知らせ

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信（3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。
  なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物（文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

GPS／ナビ

本FOMA端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、お知らせLEDがある本体左上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報サービスの設定

❖GPS機能を使用

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[GPS機能を使用]にチェック→[同意する]

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、視界が良好な場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。
- 無線ネットワークの現在地検索と併用することをおすすめします。

❖無線ネットワークでの現在地検索を使用

Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地を検索します。

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[無線ネットワークを使用]にチェック→[同意する]

- ［無線ネットワークを使用］にチェックを付けると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された位置データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

❖現在地を表示

1 アプリケーションメニューで[マップ]

- 地図をスクロールまたはパンして見たい部分を表示します。
- 次の方法で地図を拡大／縮小します。
  ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
  ダブルタップ：拡大します。
  2本指タップ：縮小します。
  ズームコントロール：⊕で拡大し、⊖で縮小します。

❖ストリートビュー

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

1 **地図表示中に地点を選択(1秒以上)→表示された吹き出しをタップ→**

- ストリートビュー表示中にMENU→［コンパスモード］をタップしてコンパスモードをオンにすると、FOMA端末の電子コンパスとストリートビューの方位が連動します。

❖場所を検索

1 **地図表示中にMENU→[検索]→検索ボックスにキーワードを入力**

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ロンドン 美術館）を入力します。

2 **／検索候補を選択→地図上の吹き出しをタップ**

- 検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸を選択して吹き出しを表示します。をタップしてリストを表示し、目的の場所を選択して詳細情報とオプションを開くこともできます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖レイヤを表示

地図表示に道路の渋滞情報を追加したり、航空写真表示に切り替えたりします。

1 **地図表示中に→項目を選択**

- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

❖道案内

1 **地図表示中にMENU→[経路]**

2 **[現在地]→出発地を入力→[到着地:]→到着地を入力**

- 現在地から道案内をする場合は、出発地は［現在地］のままにします。
- 入力欄右のをタップして、現在地や連絡先の住所、地図上の場所を指定することもできます。

3 **移動手段(自動車／公共交通機関／徒歩)を選択→[実行]**

：自動車　：公共交通機関　：徒歩

- 公共交通機関で検索して複数のルートが見つかった場合は、ルートを選択します。

4

- 地図の下に表示される矢印をタップして前後のポイントに進みます。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［ナビ］の操作でもルート検索ができます。

◆Google Latitudeで友だちの現在地を確認

地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Latitudeの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

❖Latitudeに参加

1 **地図表示中にMENU→[Latitudeに参加]**

- Latitudeの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  地図表示中にMENU→［その他］→［ヘルプ］→［Latitude］

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［Latitude］の操作でもGoogle Latitudeを起動することができます。

◆プレイス

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索します。

1 **アプリケーションメニューで[プレイス]**

2 **施設／店舗を選択**

- ［追加］をタップすると、一覧にない施設や店舗（美術館、書店など）を追加できます。

3 **目的の場所を選択**

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。
- おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード〈スマートフォン〉編）』またはドコモマーケットをご覧ください。

◆おサイフケータイのご利用にあたって

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆ おサイフケータイの利用

1 アプリケーションメニューで[おサイフケータイ]

サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。

2 サービスを選択

- 初回起動時は画面の指示に従って初期設定を行ってください。

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。

◆ 読み取り機にかざす

マークをかざすだけで、読み取り機と通信できます。

- マークは読み取り機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、FOMA端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。なお、マークはFOMA端末の中心部ではなくカメラ付近にあるため、かざす位置にご注意ください。
- マークと読み取り機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

1 アプリケーションメニューで[おサイフケータイ]

2 MENU→[おサイフケータイ ロック設定]

3 [次へ]→パスワード欄に4～8桁のパスワードを入力

4 パスワードの確認欄に操作3で入力したパスワードを入力→[OK]

❖ロックの解除

1 アプリケーションメニューで[おサイフケータイ]

2 MENU→[おサイフケータイ ロック設定]

3 パスワード欄にパスワードを入力→[OK]

◆ トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは［トルカ］アプリに保存され、［トルカ］アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード〈スマートフォン〉編）』またはドコモマーケットをご覧ください。

✔お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得、更新、メールを利用しての送信、microSDカードへの移動／コピー、地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックを［ON］に設定した場合、保存済みトルカと同じトルカを読み取り機から重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、［OFF］に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

時計

卓上時計を表示したり、アラームを設定したりします。

1 アプリケーションメニューで[時計]

卓上時計が表示されます。

◆アラームの設定

1 アプリケーションメニューで[時計]→画面左下のアラームアイコンをタップ

2 設定するアラームの時刻表示欄をタップ

アラームON／OFF切り替え：アラームアイコンにチェック（緑）／チェックを外す（グレー）
新規アラームを設定：[アラームの設定]→時刻を入力→[設定]
アラームの削除：時刻表示欄をタップ→[削除]→[OK]
アラームオプション設定：MENU→[設定]→各項目を設定
卓上時計を表示：画面左下の時計アイコンをタップ

3 各項目を設定→[完了]

アラームONにするとステータスバーに⏰が表示されます。

❖アラーム通知時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。

アラームの停止：通知画面で［停止］
スヌーズを設定：通知画面で［スヌーズ］
- 一定時間が経過すると再びアラームが動作します。

スヌーズを解除：通知パネルを開く→スヌーズ通知をタップ

カレンダー

FOMA端末のカレンダーをオンラインのGoogleカレンダーと同期させて、予定を管理できます。

- カレンダーを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回カレンダー起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ カレンダーの表示

1 アプリケーションメニューで[カレンダー]

■ カレンダー画面での主な操作

表示単位の切り替え： MENU→［日］／［週］／［月］／［予定リスト］

今日を含む表示に切り替え： MENU→［今日］

同期、表示するカレンダーの選択： MENU→［その他］→［カレンダー］→同期、表示するカレンダーにチェック→［OK］

- オンラインのGoogleカレンダーで複数のカレンダーを使用している場合に選択できます。

カレンダー設定： MENU→［その他］→［設定］→各項目を設定

◆ 予定の登録

1 カレンダー画面で MENU→[その他]→[予定を作成]

- 初回や未同期のときはアカウント追加画面が表示されます。必要に応じてアカウントを追加してください。
- 日付や時間帯を1秒以上タッチ→［予定を作成］をタップしても登録できます。

2 各項目を設定→[完了]

❖ 通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で通知を消去したりスヌーズを設定したりできます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

2 目的の操作を行う

通知の消去： 通知をタップ
詳細画面が表示され、通知が消去されます。

通知をすべて消去： ［通知を消去］

通知をすべてスヌーズ： ［すべてスヌーズ］
5分後に再度予定を通知します。

◆ 予定の確認

カレンダーに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で予定をタップ

- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■ 詳細画面での主な操作

予定の編集： MENU→［予定を編集］→予定を編集→［完了］

予定の削除： MENU→［予定を削除］→［OK］

- 日／週表示画面で予定を1秒以上タッチしても編集したり削除したりできます。

メモ帳

メモを作成します。

1 アプリケーションメニューで[メモ帳]

2 [新規]→メモを入力→[登録]

確認：メモをタップ
編集：メモをタップ→［編集］
削除：メモをタッチ（1秒以上）→［はい］
- MENU→［選択削除］から、複数のメモを選択して削除できます。

共有：メモをタップ→MENU→［共有］→アプリケーションを選択
ショートカット作成：メモをタップ→MENU→［ショートカット］
メモ設定：MENU→［設定］→各項目を設定
microSDカードからメモを取り込み：MENU→［microSD取り込み］
- FOMA端末で作成したメモ（拡張子が「VNT」「VCS」のファイル）を取り込めます。

電卓

1 アプリケーションメニューで[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：[CLEAR]
数式をすべて消去：[CLEAR]（1秒以上）
関数パッド／四則演算パッド切り替え：MENU→［関数機能］／［標準機能］
- 左右にフリックして切り替えることもできます。

切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をタッチ（1秒以上）→切り取り／コピー／貼り付けの操作を行う

ThinkFree Office

microSDカードに保存したOffice文書（Word、Excel、PowerPoint）やPDFファイルなどを表示します。

1 アプリケーションメニューで[ThinkFree Office]

- はじめて起動したときは、使用許諾契約書を読み［同意する］→［今すぐアクティブ化］が必要です。［後にする］を選択した場合は、アクティブ化するまで［今すぐアクティブ化］の画面が表示されます。

2 [マイ文書]→フォルダ／ファイルを選択

- ファイル表示中にピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- ファイル表示中にMENUを押すと、ファイルの送信、検索、ズーム、環境設定、バージョン情報の確認などの操作ができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。
- フォルダ／ファイル一覧でフォルダ／ファイルを1秒以上タッチすると、アップロード、名前の変更、削除、移動、コピー、プロパティの表示などの操作ができます。
- ［オンライン］はオンラインストレージにアクセスしてファイルの共有ができます。アカウントを作成して利用します。

✔お知らせ

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

その他のアプリケーション

◆ iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

◆ しゃべってカンタン操作

しゃべってカンタン操作アプリは、しゃべることでカンタンに携帯電話を操作できる便利なアプリです。電話やメールの機能を使いたいときや、壁紙の設定を変更したいとき、またダウンロードしたアプリケーションを使いたいときなどに、呼び出したい機能をお話しください。

使用例は次のとおりです。

- 「○○さんに電話する」と話す：電話したい相手の電話帳を表示します。
- 「6時にアラーム」と話す：6時のアラームを設定します。
- 「写真を撮る」と話す：カメラを呼び出します。

※ はっきりと、自然な会話の速度でお話しください。
※ ご利用になる環境や話しかたによって認識結果が異なる場合があります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本FOMA端末は、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - 「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をオンにしてください。→P117
※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外でご利用になる前の確認事項

◆ ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売のFOMA 海外兼用ACアダプタ 01またはFOMA ACアダプタ 02をご利用ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

- ご利用のFOMA端末やアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［ネットワークオペレーター］を［自動選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

［ネットワークオペレーター］を手動で設定し、定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

■ ディスプレイの表示

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

：ローミング中

／：GPRS接続中／使用中

／：3G（パケット）接続中／使用中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻

［日付と時刻］を［自動］に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P78

❖ お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

◆ ネットワークの種類（モード）の設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 モードを選択

WCDMAのみ：3Gネットワークを利用します。
GSMのみ：GSMネットワークを利用します。
GSM／WCDMAを自動で切り替える：利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

✔お知らせ

- モードを［GSM／WCDMAを自動で切り替える］に設定しているときに、同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。
- 滞在先でモードを［GSMのみ］に設定した場合は、日本に帰国後、［WCDMAのみ］または［GSM／WCDMAを自動で切り替える］に設定してください。

◆ 手動で通信事業者を設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークオペレーター]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 通信事業者のネットワークを選択

✔お知らせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合、日本帰国後にネットワークオペレーターを［自動選択］に設定してください。

◆ データローミングの設定

1 ホーム画面でMENU→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

2 [データローミング]

3 注意画面の内容を確認して[OK]

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→+（「0」を1秒以上）→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
- 国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、MENU→［その他］→［国番号付加］→国を選択します。

2

✔**お知らせ**

- アプリケーションメニューで［電話］→MENU→［国番号設定］をタップすると国番号を登録できます。

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **アプリケーションメニューで［電話］**

2 **電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3

◆ 滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔**お知らせ**

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［GSM／WCDMAを自動で切り替える］に設定します。→P117
- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークオペレーター］を［自動選択］に設定します。→P117

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F21
- リアカバー F63
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- 卓上ホルダ F34
- PC接続用USBケーブル T01
- FOMA ACアダプタ 01※1／02※1、2
- FOMA DCアダプタ 01※1／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1、2
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- キャリングケース 02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01

※1 本FOMA端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P125
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P24
- 電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中にお知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P24
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が、FOMA端末およびACアダプタと正しく接続されていますか。→P28
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してお知らせLEDが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●ボタンを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。⏻または［⌂］を押して解除してください。→P33、49

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモUIMカードが認識されない

ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P22

●タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイが暗い

画面のバックライト設定を確認してください。→P71

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻が［自動］になっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P78

●タップしても正しく操作できない

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- F-12Cのディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。

●電源を入れたのに操作できない

PINコードを入力する画面が表示されていませんか。→P47

●ロックを解除したのに操作できない

画面ロック解除パターンまたは画面ロック解除用暗証番号／パスワードの入力画面が表示されていませんか。→P48

●FOMA端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない

FOMA端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリケーションを削除してください。→P105

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P28

■ 通話・音声

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 通話音量を変更してください。また、はっきりボイス、あわせるボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P53
- 市販の保護シートで受話口をふさいでいませんか。
- 受話口を耳でふさいでいませんか。

●通話ができない（場所を移動しても［圏外］の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。→P22、24、28
- 電波の性質により圏外ではなく、電波状態アイコンが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は［しばらくお待ちください］と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 着信音量を0にしていませんか。→P70
- 公共モード（ドライブモード）やマナーモードを設定していませんか。→P61、69
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒にしていませんか。→P58、60

●電話がつながらない

- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P22
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P65

■ メール

●新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない

- 次の設定を変更していませんか。
  - 新着Eメール通知の設定→P81
  - Gmailの新着Eメール通知の設定→P84
  - 新着SMS通知の設定→P86

■ カメラ

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 自動シーン認識を利用してください。→P94
- 次の機能を利用してもピントを合わせることができます。
  - AFモード→P94、95
  - 追跡フォーカス→P94
  - タッチオートフォーカス→P94
- 近くの被写体を撮影するときはAFモードを［接写］に切り替えてください。→P94、95

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- おサイフケータイ ロック設定を起動していませんか。→P110
- FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P110

■ 海外利用

●海外で、電波状態アイコンが表示されているのにFOMA端末が使えない

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、圏外が表示されFOMA端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの種類（モード）を［GSM／WCDMAを自動で切り替える］に変更してください。→P117
- FOMA端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

●海外で利用中に突然、FOMA端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、利用累積額を精算してください。

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P117

■ データ管理・データ表示

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P24

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合はFOMA端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 音声レコーダー

●音声レコーダーで、録音した音声がすべて再生されない

音声レコーダーでの録音データの簡易再生は、ディスプレイの表示が消えると同時に停止します。すべてを再生したい場合には、ミュージックプレーヤーで再生してください。

◆ エラーメッセージ

● **PINコードを入力**

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P47

● **PINコードが正しくありません。残り回数：X**

正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P47

● **暗証番号が一致しません／パスワードが一致しません　再入力してください**

画面ロック解除用暗証番号またはパスワードに誤りがあるときに表示されます。正しい暗証番号またはパスワードを入力してください。→P48

● **SIMカードが挿入されていません**

ドコモUIMカードが正しく挿入されていない場合に表示されます。ドコモUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。なお、ドコモUIMカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め電話発信できません。

● **電池残量がありません。シャットダウンします。**

電池残量がありません。充電してください。→P26

● **しばらくお待ちください**

音声回線規制中やパケット通信規制中に表示されます。しばらくたってから操作してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、電話帳コピーツールなどを使って連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P119）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただしFOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-12Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページでご案内させていただきます。

- 更新方法には、次の3種類があります。

  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時刻に書き換えを行います。

  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。

  予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔**お知らせ**

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のF-12Cの状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量がないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信が可能です。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください。］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ローミング中もしくは圏外時は更新できません。］と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは［充電不足のため更新ができません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。］または［書換え処理が開始できません。フル充電後に再度更新を実行して下さい。］と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-12C固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

◆ ソフトウェアの自動更新

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時刻に書き換えを行います。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が［自動で更新を行う。］に設定されています。

1 ホーム画面でMENU→［設定］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］→［ソフトウェア更新設定の変更］

2 ［自動で更新を行う。］／［自動で更新を行わない。］

❖ソフトウェア更新が必要になると

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに⊕（ソフトウェア更新有）が表示され、書き換え時刻を確認したり、変更したりできます。

- ⊕（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、⊕（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

書き換え予告画面が表示されます。

書き換え予告画面

2 目的の操作を行う

確認終了：［OK］

ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。

時刻の変更：**［開始時刻変更］**

予約更新→P129「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：**［今すぐ開始］**

即時更新→P128「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 自動更新の時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに⊕（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻になったとき、ソフトウェア更新に必要な電池残量がない場合や電話中の場合は、ソフトウェア更新を開始しません。翌日の同じ時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない。］の場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

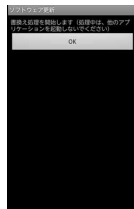
◆ ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。
- 書き換え中や更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、書き換えや更新を中止することができません。

〈例〉メニューからソフトウェア更新を起動する

1 **ホーム画面でMENU→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]→自動的にダウンロード開始→ダウンロード終了**
- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください。］と表示されます。

書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

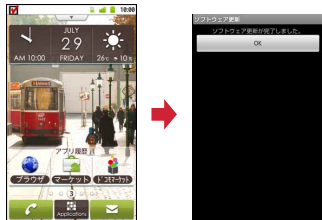
2 **[書換え処理を開始します]表示後、約3秒後に自動的に書き換え開始**
- ［OK］をタップすると、すぐに書き換えを開始します。

3 **自動的に再起動→ソフトウェア更新が開始**

4 **更新終了後、約5秒後に自動的に再起動**

ソフトウェア更新が終了すると、ホーム画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新終了後の表示

ステータスバーに☑（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知パネルを開くと、更新完了画面が表示されます。

- ☑（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消えます。

◆ ソフトウェアの予約更新

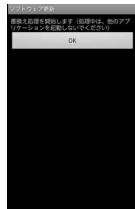
アップデートパッケージのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 **書き換え予告画面を表示→[開始時刻変更]**

端末で自動的に設定された時刻が表示されます。

2 **時刻を入力→[OK]**

❖予約の時刻になると

予約時刻になると書き換え処理開始画面が表示され、約3秒後に自動的にソフトウェア更新が開始されます（[OK] をタップすると、すぐにソフトウェア更新が開始されます）。ソフトウェア更新の予約時刻前には、電波の十分届く所でホーム画面を表示させておいてください。

✔お知らせ

- 予約時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェアは更新されません。
- 予約時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されているときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- 予約時刻にF-12Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

主な仕様

■本体

品名		F-12C
サイズ		高さ約119mm×幅約60mm×厚さ約9.8mm（最厚部：約10.5mm）
質量		約107g（電池パック装着時）
メモリ		ROM：1,024MB RAM：512MB
連続待受時間 ※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約450時間 移動時（自動）：約380時間 移動時（3G固定）：約380時間
	GSM	静止時（自動）：約290時間
連続通話時間 ※2、3	FOMA／3G	約320分
	GSM	約350分
FOMA ACアダプタ（別売）での充電時間※4		FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01使用時：約180分 卓上ホルダ使用時：約240分
FOMA DCアダプタ（別売）での充電時間※4		FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01使用時：約180分 卓上ホルダ使用時：約240分

液晶部	種類	TFT
	サイズ	約3.7inch
	発色数	16,777,216色
	ドット数	横480ドット×縦800ドット（ワイドVGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/3.2inch
カメラ有効画素数		約810万画素
記録画素数（最大時）		約800万画素
デジタルズーム		静止画：最大約5.1倍（32段階）、動画：最大約8.0倍（32段階）
音楽再生	WMAファイル	連続再生時間：約2,046分（バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間：約2,020分（バックグラウンド再生対応）
無線LAN		IEEE802.11b/g/n※5準拠
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDR準拠※6
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※7	約10m以内
	対応プロファイル※8	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※4 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※5 IEEE802.11nは、2.4GHzのみ対応しています。また、Wi-Fiテザリングは非対応です。

※6 本FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※7 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※8 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■電池パック

品　名	電池パック F21
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1460mAh

❖ファイル形式

FOMA端末で撮影した静止画と動画は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	3gp

❖静止画の撮影枚数（目安）

画像サイズ	microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数
VGA	約60,000枚

❖動画の撮影時間（目安）

画像サイズ	microSDカード（2GB）に保存できる撮影時間
VGA	約335分

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-12Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.010W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年7月現在）

◆ Declaration of Conformity

The product "F-12C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.402W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the

phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.000W/kg, and when worn on the body, is 1.010W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F12C).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.0 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Wi-Fiとは

無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という設定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

❖認証取得内容

■ IEEE Standard※1

- IEEE 802.11b
- IEEE 802.11g
- IEEE 802.11n

■ Security※2

- WPA™ - Personal、Enterprise
- WPA2™ - Personal、Enterprise

Vendor EAP Types※3

- EAP-TLS
- PEAPv0/EAP-MSCHAPv2

■ Multimedia

- WMM®※4

■ Special Features

- Wi-Fi Protected Setup™※5

※1 無線LAN規格IEEE 802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。
※2 IEEE 802.11iに基づきWi-Fi Alliance®が策定した無線LANの暗号化方式の規格です。
WPA™
Wi-Fi Protected Accessの略で、相互運用可能なセキュリティ拡張の標準化仕様です。
暗号化方式はTemporal Key Integrity Protocol（TKIP）を使用します。
WPA2™
IEEE 802.11i規格に準拠し、WPA™認証をさらに強化しており、下位互換性があります。

暗号化方式はAdvanced Encryption Standard（AES）を使用し、現在Wi-Fi認証ではWPA2™認証は必須となっています。
WPA™、WPA2™の両方の認証にEnterpriseとPersonalがあり、Enterpriseは802.1xとEAP、Personalは事前共有キー（WPA/WPA2-PSK）で認証を行います。

※3 EAPはExtensible Authentication Protocolの略で、ネットワークデバイスのIDを確認するために使用される認証プロトコルです。WPA™/WPA2™-Enterprise認証で使用されます。
EAP-TLS
Extensible Authentication Protocol Transport Layer Securityの略で、クライアントと認証サーバの両方でデジタル証明書を使って無線LANクライアントの認証を行います。
PEAPv0/EAP-MSCHAPv2
PEAPはProtected Extensible Authentication Protocolの略で、パスワードなどの認証データを802.11ワイヤレスネットワークで転送するために、クライアントと認証サーバの間に暗号化されたSSL/TLSトンネルを作成し、サーバ側のデジタル証明書のみを使って無線LANクライアントを認証します。本方式では暗号化されたSSL/TLSトンネルを介してEAP-MSCHAPv2を実行します。

※4 WMM®はWi-Fi Multimediaの略で、IEEE 802.11eに基づいてWi-Fi Alliance®が策定したQoS機能規格です。無線LANネットワーク内のさまざまなトラフィックに優先順位を割り当てる機能を有しています。

※5 WPS機能で、無線LANの接続設定内容（SSIDや認証方式、暗号キーなど）をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「WORLD WING」「公共モード」「メロディコール」「エリアメール」「spモード」「声の宅配便」および「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- ThinkFreeは、Hancom Incの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、AndroidマーケットおよびAndroidマーケットロゴ、GmailおよびGmailロゴ、Google Latitude、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google, Inc.の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「モリサワUD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。

- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、Wi-Fiロゴおよび Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

◆ Adobe® Flash® Playerエンドユーザ・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of the Software by Partner and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of the Integrated Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Partner or its Distributors.

◆ オープンソースソフトウェア

本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/

RSS利用規約

◆「ニュースRSSリーダ」パレット

- 「ニュースRSSリーダ」パレットは、次に示すRSS提供各社が提供するRSS（Rich Site Summary）を利用しています。
- 「ニュースRSSリーダ」パレットで配信されるRSSは、次に示すRSS提供会社の利用規約に基づき運営されています。
- 各社のRSS配信は、当社が保証するものではありません。
- 各社のRSS配信は、次に示すRSS提供会社の都合により、予告なく休止、終了されることがあります。
- 各社のRSS配信のご利用条件は、次に示すRSS提供会社の都合により、予告なく変更されることがあります。
- RSS提供各社の利用規約、ご利用条件は次に示す各社のWebページよりご確認ください。

◆ RSS提供会社および利用規約

- ITmedia＋D（アイティメディア株式会社）
  http://www.itmedia.co.jp/info/rule/
- 朝日新聞社
  http://mini.asahi.com/rssinfo.html
- ケータイ Watch（株式会社 Impress Watch）
  http://k-tai.impress.co.jp/cda/rss/ktai.rdf
- CNET Japan総合
  http://japan.cnet.com/info/feed/
- nikkei BPnet
  http://www.nikkeibp.co.jp/info/rss/
- Yahoo!ニュース・トピックス
  http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから　My docomo
（http://www.mydocomo.com/）
⇒ 各種お申込・お手続き

※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）→P61
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P70
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／オリジナルマナー→P69
着信音や操作音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。
音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（→P58）、転送でんわサービス（→P60）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **151** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00　(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **113** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-12Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります(「+」は「0」を1秒以上タッチします)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-12Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」を1秒以上タッチします)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'11.7 (1版)
CA92002-7671